

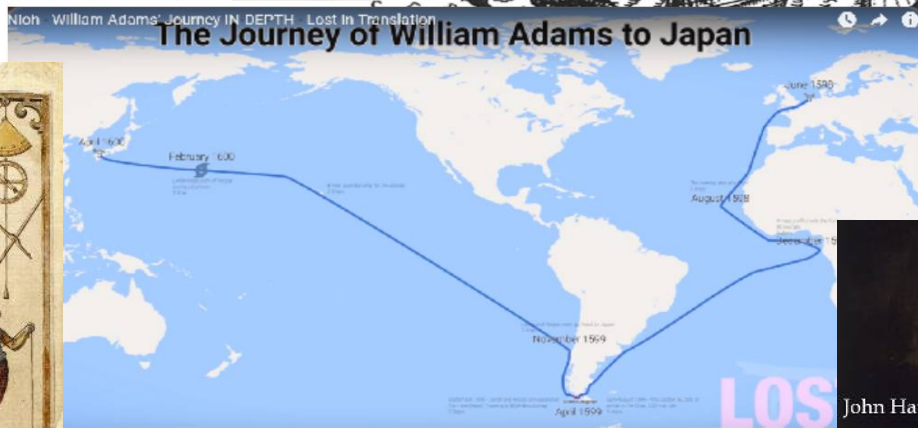
# 「William Adamsの航海術」

## 新航路の開発 (リーフデ号 & 大航海の謎)

1594  
Place of creation  
Nederland  
Description  
When Jacques Maheu and Simon de Cordes secretly assembled a fleet to sail for South America and (possibly) Japan, the ship Erasmus was renamed De Liefde. This name was more in line with those of the other ships of the fleet. After a dreadful voyage, De Liefde was the only ship to reach Japan. She ran aground near the city of Oita, after which the local population pillaged her, while the authorities seized possession of the ship and all the commodities. When Japanese sailors took De Liefde to another port, she was lost in a storm.  
Dimensions  
55 x 21.5 x 47 cm

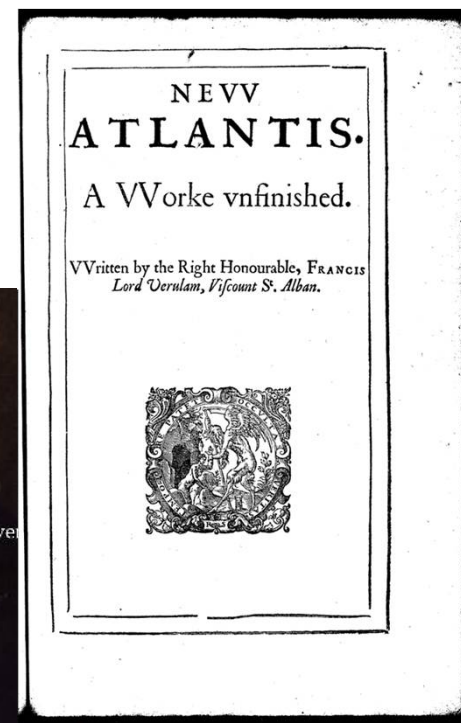


Full model of De Liefde



「愛」

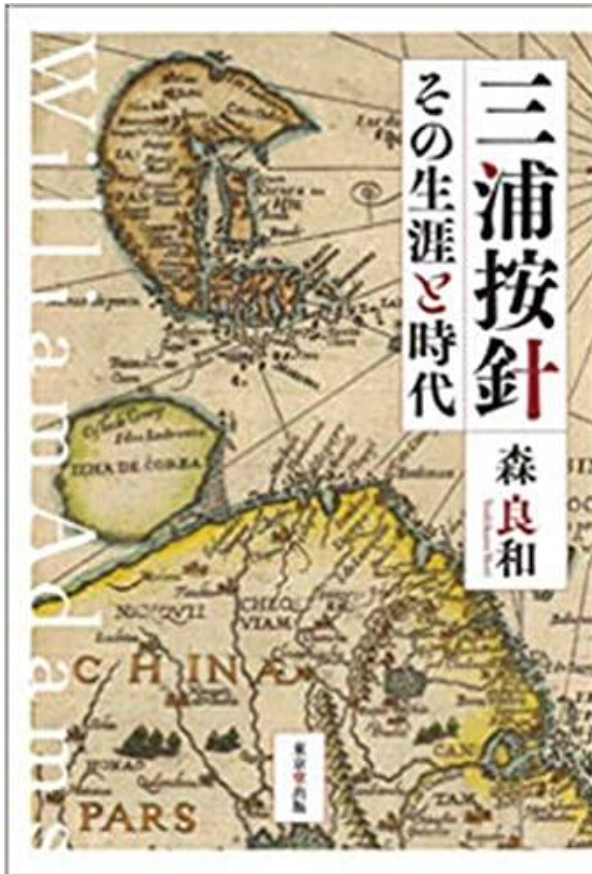
17世紀の  
オランダ版画



大航海時代(初期)の欧州  
アダムスの幼年・青年期(@英蘭)

- \* アダムス・按針の生涯について**
- \* 按針に興味をもった理由**
- \* 按針と東京商船大学日本の繋がり**
- \* 東京海洋大学の学生諸君への期待**

## 森良和氏、フレデリック・クレインス氏の著作



## 按針インターネットの活動(ZOOM講演)

# William Adams / 三浦按針の生涯とその時代



- \* 世界・日本の“激動の時代”・“近世の幕開け”： 激変する現代に酷似！
- \* 初めての英国人として、神秘の日本への奇跡の台航海
- \* 日本の近世の幕開けを果たした家康の出会い（家庭教師としての役割）
- \* 按針の業績 → 現代に残された影響

# アダムス・三浦按針

船大工修行@ライムハウス

世界の覇権(新旧交代)  
アルマダ海戦

エリザベス1世



リーフデ号豊後に漂着!



徳川家康

関ヶ原の戦い

軍事

幕藩体制

造船海運

サン・ブエナベンチュラ号

北方航路開発

伊達政宗

向井将監

サン・ファン・パウティスタ号  
慶長遣欧使節

外交

英蘭・東インド会社

徳川家康の  
スペイン外交

- リーフデ号の積荷
- ・大型大砲19門
- ・小型大砲12門
- ・銃500丁
- ・砲弾5000発
- ・火薬2500kg
- ・鋼鉄製の甲冑



南蛮甲冑

大坂夏の陣



江川英龍

黒船来航!

蘭学→日米・英関係

明治維新

蘭学と外交・海軍

日本の水先人・航海術



山尾庸三  
開陽丸

明治丸

水先人協会

北極海航路開発



日米・日英 関係

仁王

\*\*\*\*\*

Suntory Toyota International Centres for Economics and Related Disciplines(STICERD)森嶋通夫

「WILLIAM ADAMS / MIURA ANJIN: MAN / MYTH」 By Professor Derek Massarella, Chuo University, Tokyo:

→ [https://papers.ssrn.com/sol3/papers.cfm?abstract\\_id=1162034](https://papers.ssrn.com/sol3/papers.cfm?abstract_id=1162034)

\*[http://eprints.lse.ac.uk/6890/1/William\\_Adams\\_and\\_Early\\_English\\_Enterprise\\_in\\_Japan.pdf](http://eprints.lse.ac.uk/6890/1/William_Adams_and_Early_English_Enterprise_in_Japan.pdf)

= abstracts from (Massarella paper) =

The William Adams story has been told many times, but not completely.

This paper corrects matters of fact and revises matters of interpretation.

It adds new information about Adams the man and examines the fabrication of the myth of William Adams or Miura Anjin that has developed since the late nineteenth century.

...

Does not Adams/Anjin perform a similar function in blurring and erasing difference?

In posing this question I hope that I too am not contributing to the perpetuation of the Adams/Anjin myth.

訳：“アダムスまたは三浦按針の神話が、19世紀後半から日本で作られた。  
… 私のこの報告が、アダムズ/アンジン神話の永続化に貢献しないを願っている。”

\*\*\*\*\*

<注>

マサレラ氏は、「アダムス神話」からの脱却を基本として、“現代日本では過度にアダムスを礼賛しているが、その根拠は薄弱で、アダムスが日本外交に及ぼした影響はほとんどない。”と考えているようです。

私はマサレラ氏の意見と一致はしませんが、「本当はどうだったのか？その根拠は？」を追及したいと思っております。

# アダムス・按針を知るには、当時の世界情勢を知る

## 16世紀～17世紀初めの(世界・西欧)

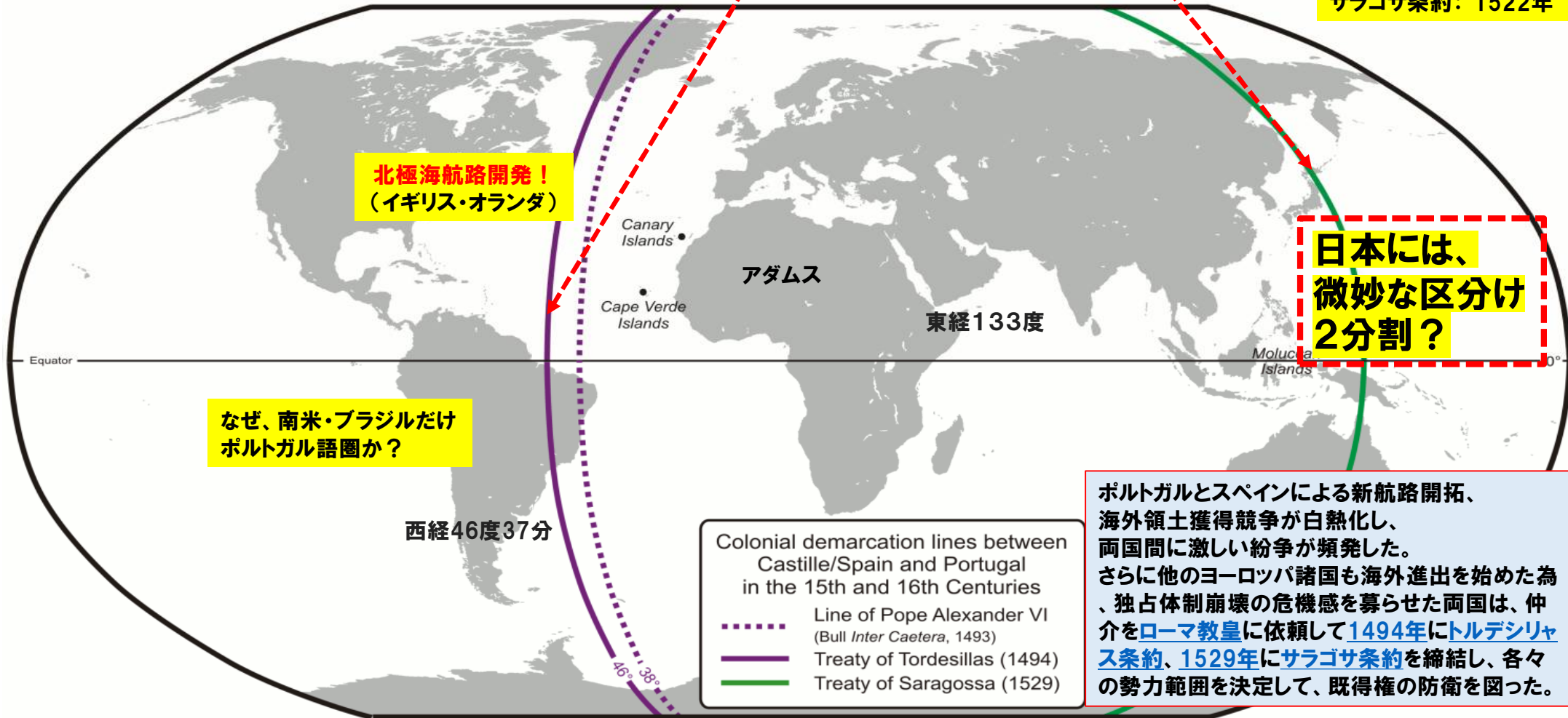
- 大航海時代の覇権国：旧(スペイン・ポルトガル)⇒新(オランダ・イギリス)
- 宗教革命：旧教・ローマカソリック vs 新教・プロテスタント)
- 旧覇権国→新興国新興国イギリスとオランダの台頭「アルマダの海戦」
- 重商主義・東印度会社設立に向けて
- スペイン：西回リアジア航路・復航路「シルバー・ロード」の開拓・確立
- 北極海航路開発

# 16世紀後半の世界ー1

大航海時代の主役の新(オランダ・イギリス)旧(スペイン・ポルトガル)の交代時期であった！

ポルトガル・スペイン間の条約締結：**トルデシヤス条約** 及び**サラゴサ条約**の境界線

トルデシヤス：1494年  
サラゴサ条約：1522年





## 16世紀後半の世界ー2

### 宗教革命

旧教・ローマカソリック vs 新教・プロテスタント  
(ポルトガル・スペイン) (イギリス・オランダ)

- 宗教改革(Protestant Reformation)(1517年～1521年):  
16世紀(中世末期)のキリスト教世界における教会体制上の革新運動である。免罪符に対するルターの批判がきっかけとなり、以前から指摘されていた教皇位の世俗化、聖職者の墮落などへの信徒の不満と結びついて、ローマ・カトリック教会からプロテスタントの分離へと発展した。
- ルターによるルター教会、チューリッヒのツヴィングリやジュネーヴのカルヴァンなど各都市による改革派教会、ヘンリー8世によって始まったイギリス国教会などが成立した。また、当時はその他にアナバプテスト(今日のメノナイト)など急進派も力を持っていた。
- **イギリス**のヘンリー8世による**英国・聖公会**による複雑・微妙な立ち位置

イギリス人・アダムス(按針)が、**プロテスタント**であり、オランダ船団に乗り組むという奇遇が、日本で家康の外交顧問としての活動に、大きく影響する事になる。

更に、彼の出身地・**ジリングム**が**イギリスvsオランダの交流・対立の地**である事も、彼の外交顧問としての特異な立ち位置を生むことになった。

## 16世紀後半の世界ー3

### 旧覇権国→新興国新興国イギリスとオランダの台頭 「アルマダの海戦」



アルマダの海戦( Battle of Armada, Armada Wars )は、スペイン無敵艦隊( Spanish Armada )のイングランド侵攻において、1588年7月から8月(旧暦7月)に英仏海峡で行われた諸海戦の総称である。

広く知られる「無敵艦隊」の名称はスペイン語 Armada Invencible の訳で、スペイン海軍のC・F・ダロ大佐が1884年に著した論文の題名が原典とされている。

イングランド側視点での歴史書では、“the Invincible Armada”の名称が揶揄的な表現として稀に用いられている。  
本国スペインにおいては、「最高の祝福を受けた大いなる艦隊」と呼ばれていた。  
中立な視点からは、英語の文脈では Spanish Armada、the Armada 等と呼ぶ。

アダムスは、ドレイク將軍の指揮下、  
Logistic・貨物補給船リチャード・ダフィールド号の船長としてアルマダの海戦に参戦！  
(アダムスは船大工に飽き足らず、航海士に憧れていた。)

## 16世紀後半の世界-4

- 一世紀にわたり東洋貿易を独占したポルトガルとスペインから、イギリスとオランダへの勢力交代、
  - ルターの宗教改革によるプロテスタントの勃興
- ⇒ アダムスは、その激動の世界を自らの経験として家康に伝え、家康を覚醒させた！

トーマス マン  
(1571-1641)  
東インド会社 役員

国家間の競争に勝たなければ

貿易差額こそ  
イギリスの富を増大させるものだ  
そのためには輸入額よりも  
輸出額を多くしなければならない  
輸入品には多くの付加価値をつけて  
再輸出するのだ  
著書「外国貿易によるイングランドの財宝」

国家間の競争に勝たなければ  
貿易商人は"王国の富の管理者"であり  
他国民と通商を営む者  
当然その職務には責任と榮譽が伴う  
すぐれた手腕と誠意をもって  
私の利益が公の福祉に従うようにしなければならない  
著書「外国貿易によるイングランドの財宝」



### 【重商主義・東印度会社】

エリザベス1世はフランシス・ドレークの世界一周を皮切りに、世界航海進出を狙い、アジア圏の貿易を独占しようとしていた。

毛織物工業の発達を利用して貿易に力を入れ、重商主義を掲げ、関ヶ原の戦いが起きた1600年には、イギリス東インド会社を設立した。(オランダ東インド会社:1602年)

## 16世紀後半の世界-5

### 西回りアジア航路(スペイン):シルバー・ロードの開拓と確立!

スペインのアジア進出政策として、西回りのアジア航路開発の略歴:

- \*1521年: マゼラン世界一周(フィリピン到着: 南回りは長すぎて商業的に採算が合わない)
- \*1528年: 東インド諸島に到着(西回り航路の難点、アジアからメキシコに引き返す帰遠航路が見つからなかった)
- \*1565年: "エルナン・コルテス"(アステカ帝国征服者)が1528年から取り組んだ太平洋往復航路の開発は、"アンドレス・デ・ウルダネータ"がマニラから北上する日本海流、そしてカリフォルニア海流に乗るルートを発見、アカプルコに帰着した時、「シルバーロード」(往復)が確立された。

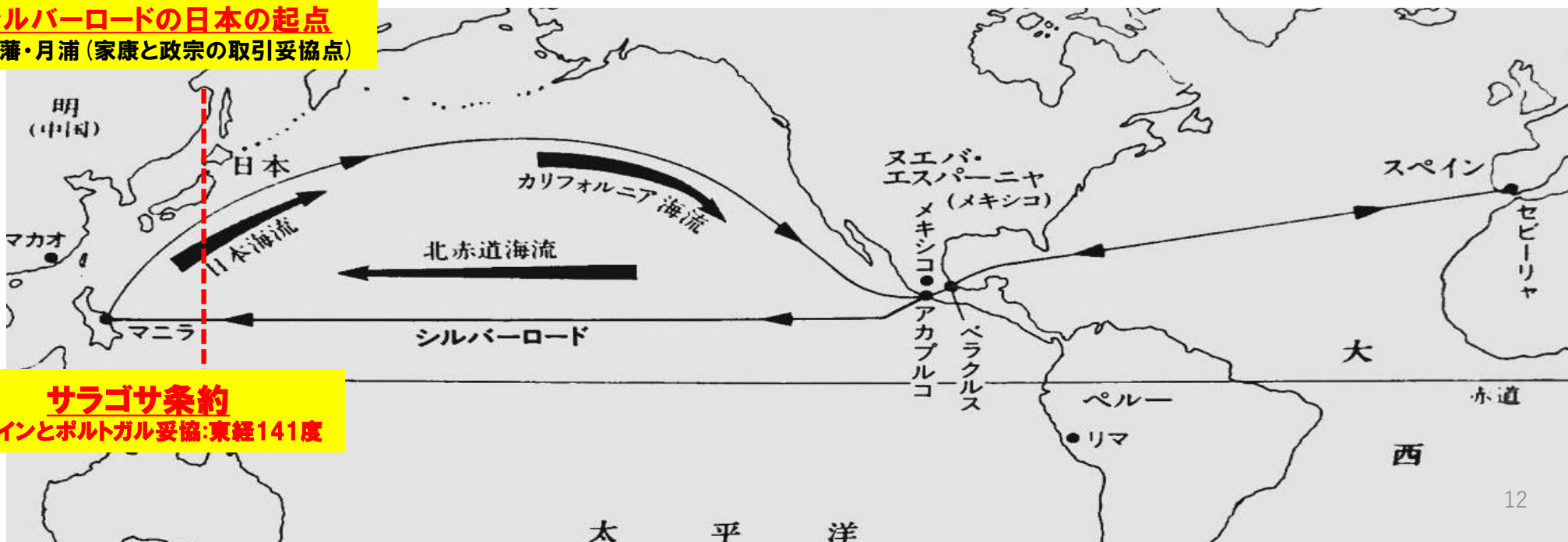
... この日本に接近する大圏航路「シルバーロード」が日本のその後に大きな影響を与える事になった。

その後(1571年)、スペインは政府をマニラに定め、定期貿易船「ガレオン・デ・マニラ」として、約二世紀半の間 このシルバーロードが太平洋定期航路として活用される事になる。

(注) このルートで初めて太平洋横断に成功した日本人船は、「サン・フェナ・ヴェンツラ号」である。… 「伊東の誇り」

#### シルバーロードの日本の起点

仙台藩・月浦(家康と政宗の取引妥協点)



#### サラゴサ条約

スペインとポルトガル妥協:東経141度

## East Asian silver trade by country in tonnes of silver. (Reid 1993)

	PORTUGAL	HOLLAND	ENGLAND	SPAIN (Manila)	JAPAN
1580-1590	8.6			4.0	30
1591-1600	?			2.7	40
1601-1610	5.9	5.7	1.3	12.0	80
1611-1620	4.7	10.9	4.7	19.4	110
1621-1630	4.4	12.7	7.7	23.1	130
1631-1640		8.7	5.5	18.4	130
1641-1650		9.5	?	10.1	70
1651-1660		8.6	?	9.0	50
1661-1670		11.8	9.9	8.0	40

# 16世紀後半の世界1～5を見て！

“16世紀末の世界情勢”と“現在の世界情勢”が酷似していませんか？

- ① ◎トルデシリャス条約＋サラゴサ条約で世界を二分！  
VS  
◎中国・習近平氏の米国への「太平洋二分論」提案。
- ② ◎スペイン・ポルトガルに制圧された東西航路に対して、  
「イギリス・オランダの新北周り航路開発」＋揆針・家康の野望  
VS  
◎「経済効率と地球温暖化の煽りを受け、  
「中国や各国(日本を含む)による北極海航路の開発」
- ③ ◎ 世界の覇権争い渦中にある台湾の微妙な立ち位置

… 日本の今後を決定する関わり方！  
まさに、歴史は繰り返される。

### 習主席の「米中で太平洋二分論」

**中国海軍高官**  
「中国は空母の開発を進めているが、将来太平洋を分割して、ハワイより東の海域を米国が、西の海域を中国が管理するのはどうか？」

**米太平洋軍キーティング司令官**  
「たとえ冗談だったとしても、中国軍の戦略的な思考の一端を示しており、中国は明らかに影響力が及ぶ範囲の拡大を考えている。」

### 「一带一路」構想と北極海航路について

**北極海航路**  
約13,000km

- ・航行距離が約4割短くなる
- ・航路上の難所であるチョーク・ポイントを通らない
- ・海賊多発海域、紛争多発地域を避けて進む

**南回り航路**  
約21,000km

海賊多発海域

**中国が手中にした港・島**  
(年)は借付期間

北朝鮮	羅津港(50年)	清津港(30年)
オーストラリア	ダーウィン港(99年)	
マレーシア	ポート・ケラン港(出資)	
スリランカ	ハンバントタ港(99年)	コロンボ(99年)
モルディブ	フェイドゥフィノルフ島(50年)	
パキスタン	グワダル港、海岸の土地(43年)	
アイスランド	Grimsstaer & Fjallum港	

北朝鮮 羅津港(50年) 清津港(30年)  
オーストラリア ダーウィン港(99年)  
マレーシア ポート・ケラン港(出資)  
スリランカ ハンバントタ港(99年) コロンボ(99年)  
モルディブ フェイドゥフィノルフ島(50年)  
パキスタン グワダル港、海岸の土地(43年)  
アイスランド Grimsstaer & Fjallum港

## 16世紀～17世紀初めの日本

- **元寇の衝撃**が日本国防意識を高める
- 15～16世紀「中華思想」に基づく世界感＋中国海賊の日本への影響（倭寇）
- 戦国時代(信長、秀吉、家康)の国防意識
- 秀吉の明征伐と名護屋城
- **日本の軍力と造船技術の高さ！** スペイン・ポルトガルにとって脅威であった。

### **3: アダムスの大航海に至る人生**

- **ジンガムとは?: 少年期(12歳まで)**
- **ライムハウスとは?: 青年期(24歳)**
- **ディギンズ親方(父子)**
- **アルマダ海戦に参戦**
- **北方(北極海)航路の探検**
- **バーバリー商会での活躍**

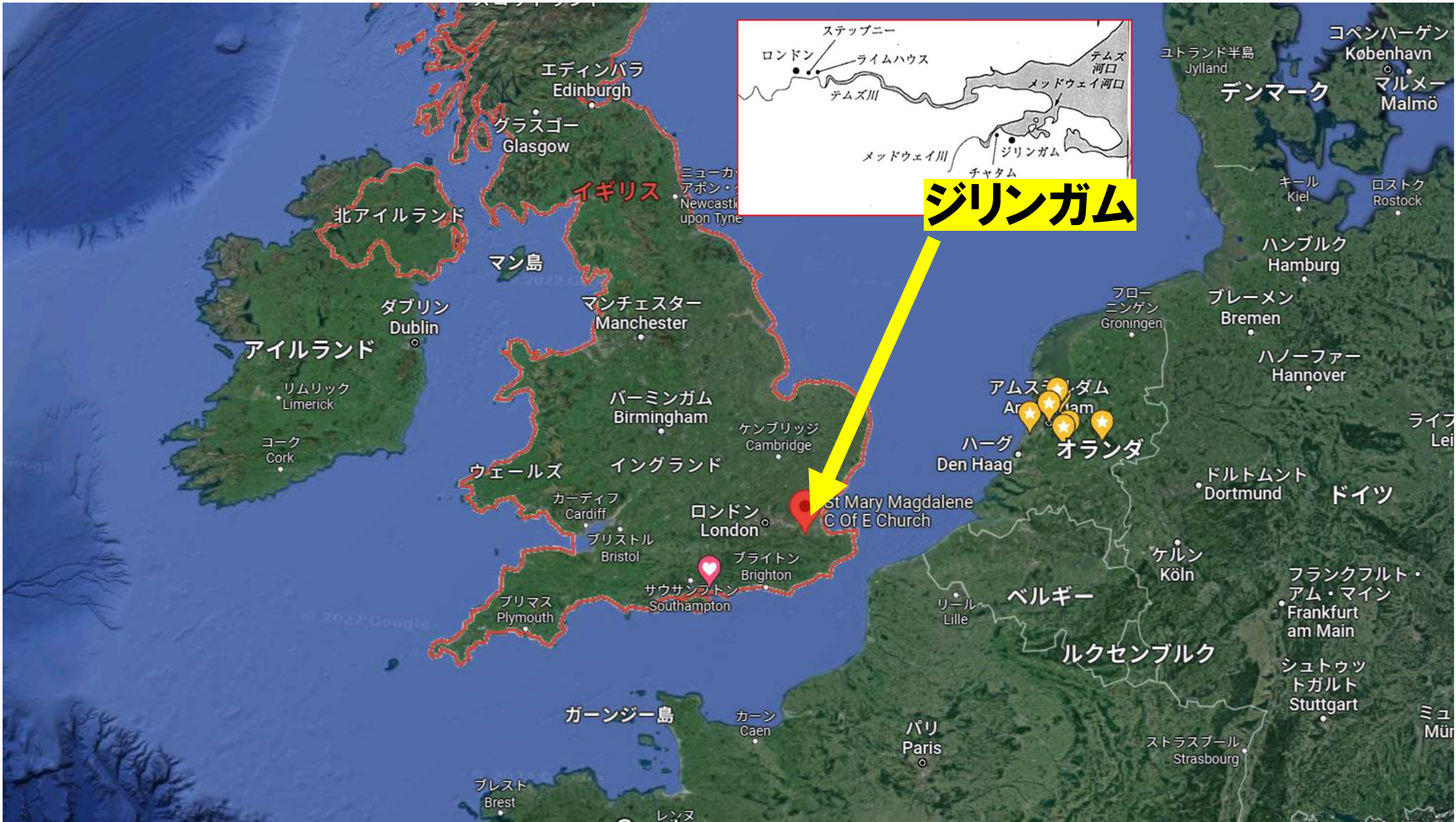


Francis Drake

John Hawkins

Thomas Cavendish

Privateer(私掠船/海賊) of the England



**ジリンガム**



エディンバラ  
Edinburgh

グラスゴー  
Glasgow

イギリス

北アイルランド

マン島

ダブリン  
Dublin

アイルランド

リムリック  
Limerick

コーク  
Cork

マンチェスター  
Manchester

バーミンガム  
Birmingham

ケンブリッジ  
Cambridge

ウェールズ

イングランド

カーディフ  
Cardiff

ロンドン  
London

セント・マリー・マグダレネ  
C Of E Church

ブリストル  
Bristol

ブライトン  
Brighton

プリマス  
Plymouth

サウサンプトン  
Southampton

アムステルダム  
Amsterdam

オランダ

ハーグ  
Den Haag

ハンブルク  
Hamburg

ブレーメン  
Bremen

ハノーファー  
Hannover

ドルトムント  
Dortmund

ドイツ

ケルン  
Köln

ベルギー

ルクセンブルク

フランクフルト・  
アム・マイン  
Frankfurt  
am Main

シュトゥット  
ガルト  
Stuttgart

ガーンジー島

カーン  
Caen

パリ  
Paris

ストラスブール  
Strasbourg

ブレスト  
Brest

レンヌ

ユトランド半島  
Jylland

デンマーク

コペンハーゲン  
København

マルメー  
Malmö

キール  
Kiel

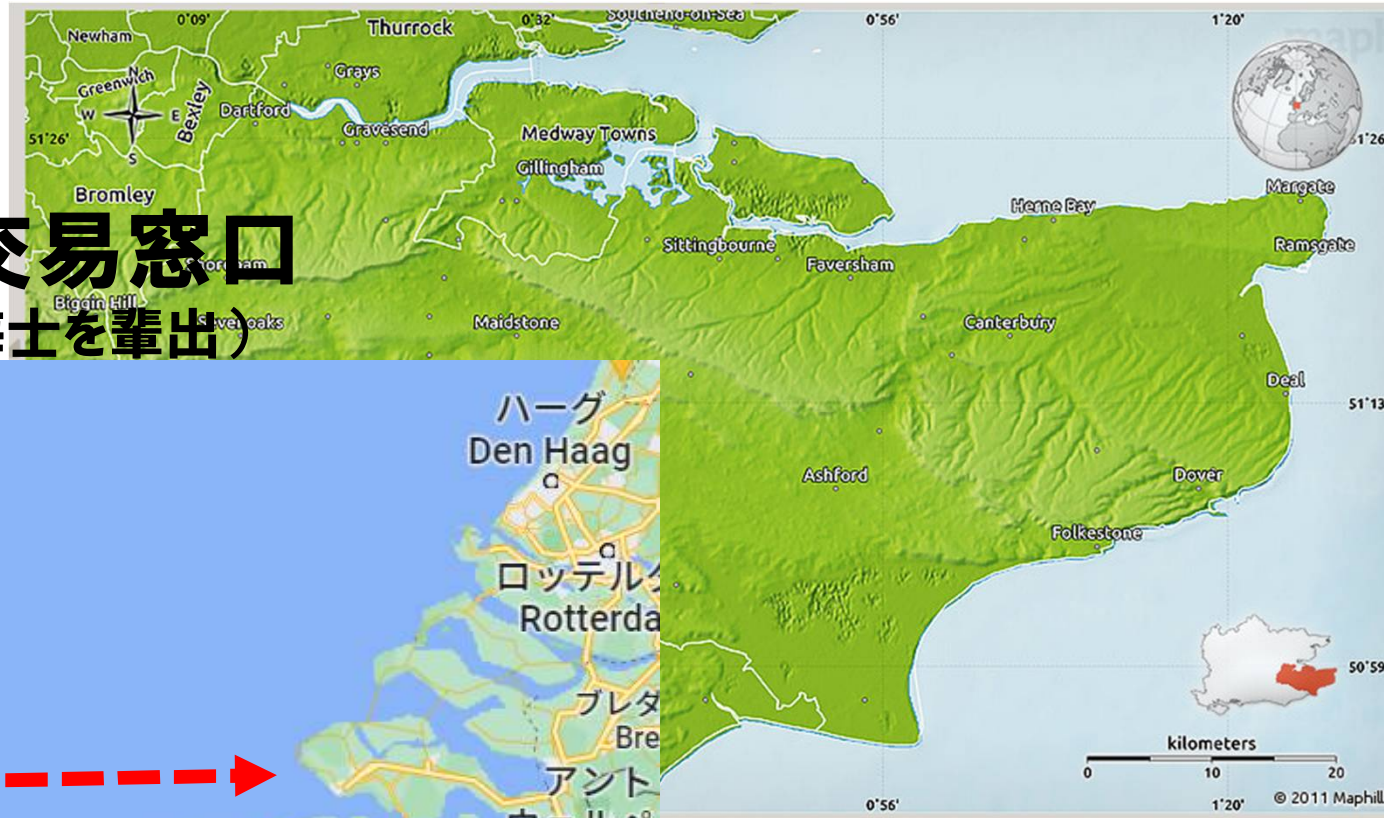
ロストック  
Rostock

フロー  
ニンゲン  
Groningen

ライプ  
ツィヒ  
Leipzig

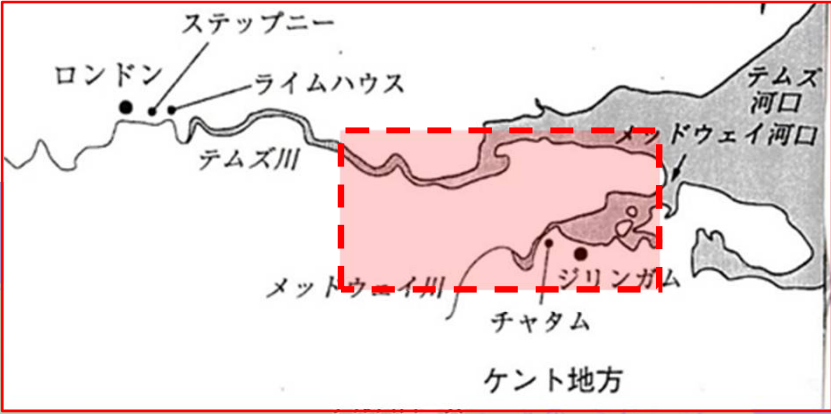
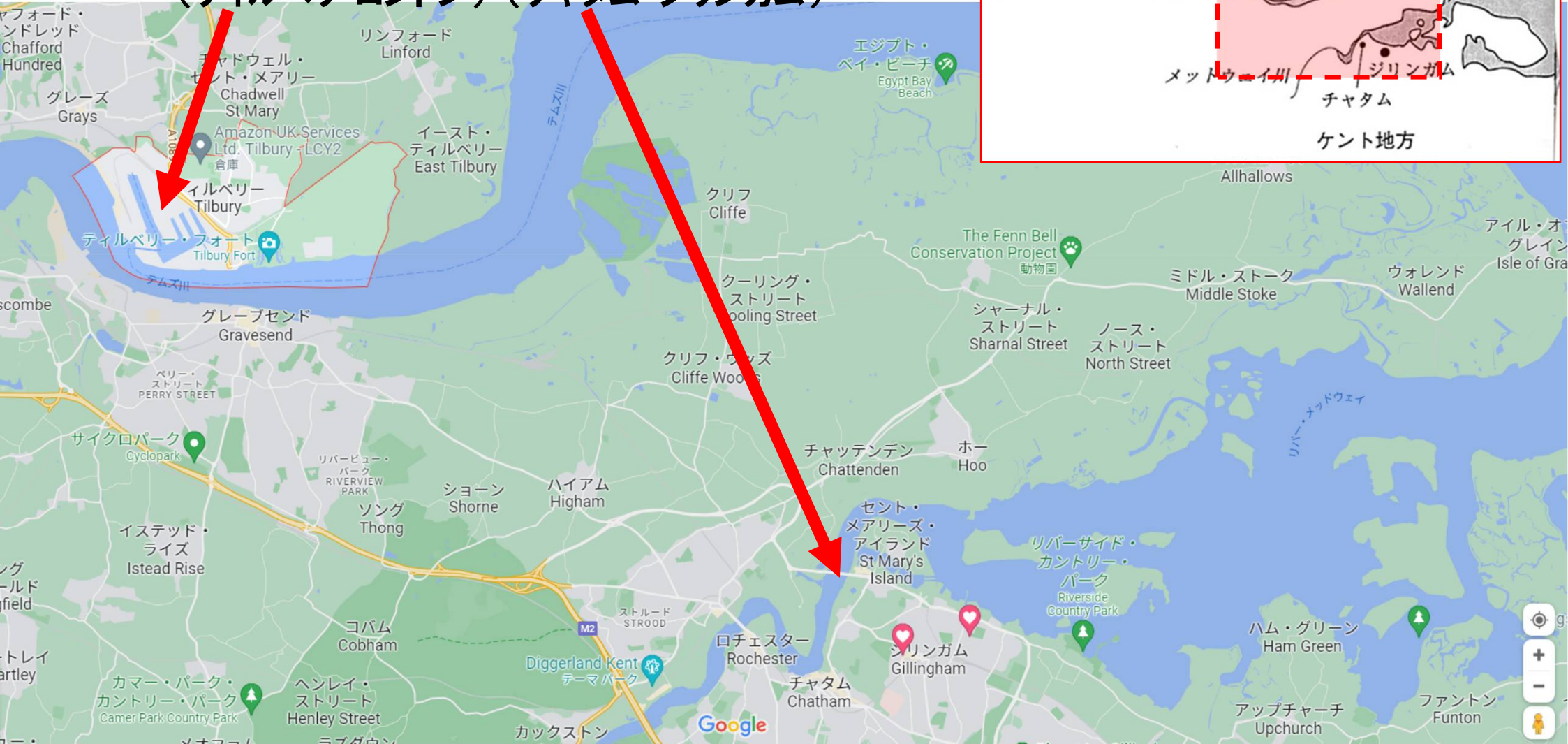
ミュン  
ヘン  
München

# 大陸との交易窓口 (海軍人・航海士を輩出)



# テムズ川とメドウェイ川

(ティルベリ・ロンドン) (チャタム・ジリングアム)





オーウェンズ・ウェイ  
ジリンガム, イングランド  
Google  
ストリートビュー



**ロープ・ヤード  
(帆船に必須)**



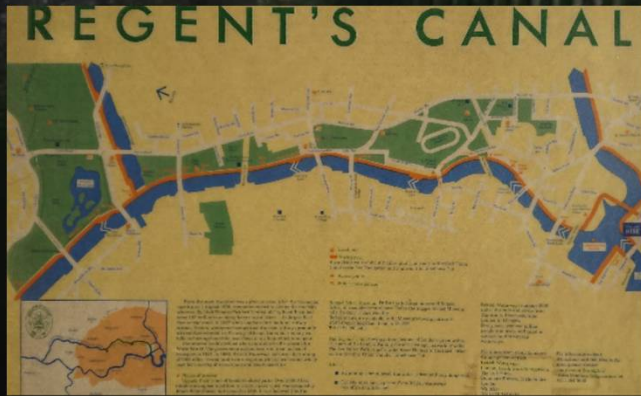
Google

**「チャタム  
造船所史跡」**

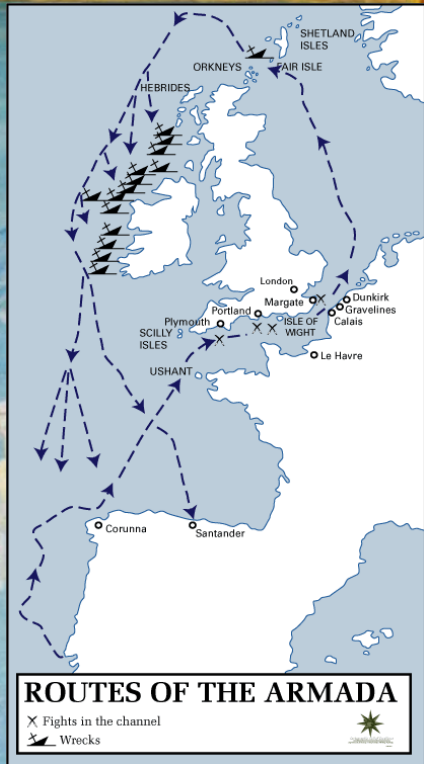


**チャタム工廠  
(Chatham Dockyard)**

# 現在のライムハウス (ドック・エリア)



# アルマダ海戦 (Spanish Armada) 1588年



# アルマダ海戦(1558年)

## 1. 切っ掛けは、「オランダ独立戦争」(英蘭関係＝敵の敵は味方！)

1554年英国王メアリ1世とスペイン国王フェリペ2世の結婚→1558年エリザベス1世即位・大陸進出→オランダのスペインからの独立  
「太陽の沈まない国」の絶対君主

## 2. 宗教上の対立

メアリ1世のカトリック支持・イギリス国協を弾圧(Bloody Mary)→エリザベス1世のヘンリー8世”英国教会“の強化

## 3. イギリスの海賊行為を女王の支持・支援！

当時のイギリス国家予算以上に、Capt.ドレイクはスペイン船の略奪で稼いで英海軍中將に引き立て、アルマダ海戦の指揮を取らせる。

## 4. スペイン無敵艦隊の敗因

船上になった英国沿岸の複雑な地形

スペインの大型・キャラック船(+人海戦術) vs 英国の小型ガレオン船・カラベル船(small, fast, caravel-built ships)

\* 小型船に火をつけて、スペイン軍船団に突入の奇策！(イギリス流の神風特攻隊作戦)

\* 帰国途上に暴風雨に出会い軍団は壊滅！(イギリスの神風) …これが、敗戦を決定づけ、スペインの没落が始まる。

59

## ● アダムスも参戦！

1588年に奉公の年限を終えると同時に海軍に入り、フランシス・ドレークの指揮下にあった貨物補給船リチャード・ダフィールド号の船長としてアルマダの海戦に参加した。 → これが、家康がアダムスに興味を持った一番の原因！

1589年にはメアリー・ハインと結婚(娘デリヴァレンスと息子ジョンを儲けた)

軍を離れてバーバリー会社ロンドン会社の航海士・船長として北方航路やアフリカへの航海で多忙だったアダムスは、家に居つかなかった。



## **4: 日本へ1年8ヶ月(675日)の大航海**

- 5隻のマフー船団 (Rotterdam Company)
- リーフデ号(船名) エラスムス
- 航路の選択 (東回り・西回り)
- マゼラン海峡(チャールズ島、赤色土着民集団)
- 脚気と壊血病
- 日本への航路選択 ・ 目標地(港)は？
- ウナコロナ島？
- 漂着か到着か？

# 元東京海洋大教授・橋本進氏(医学博士)

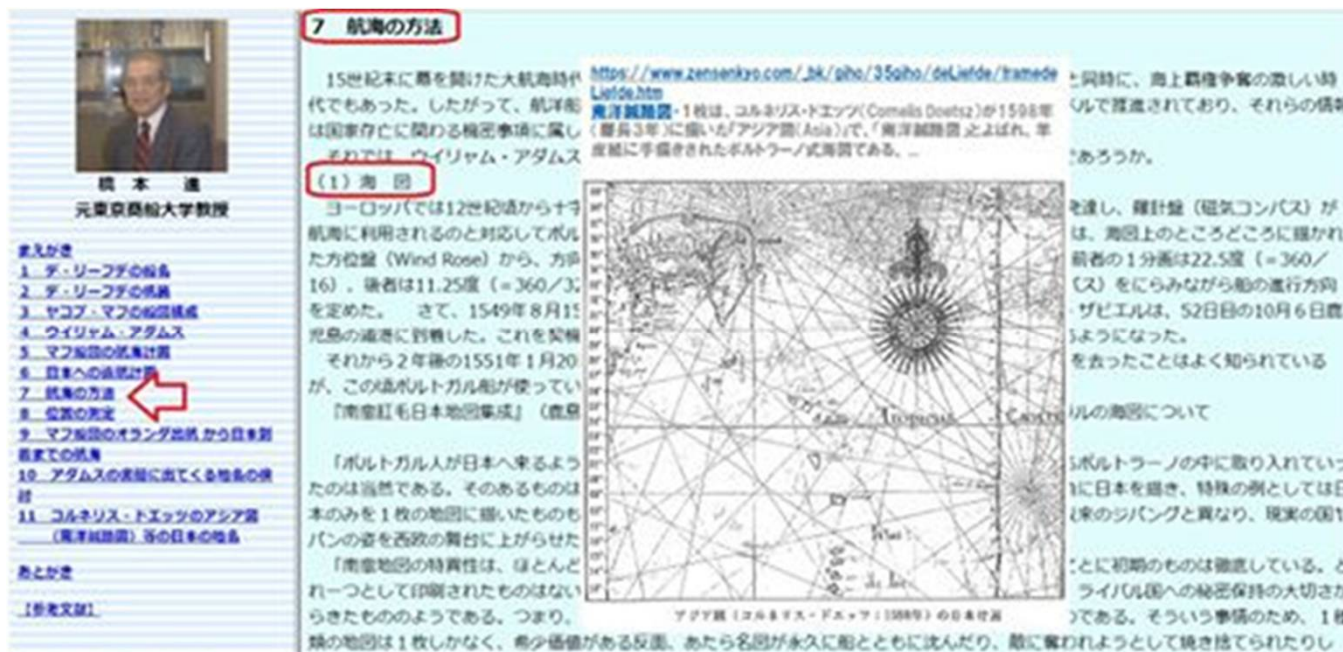
\* 寄稿文「デ・リーフデの航海(後編)(2001年7月35号)(前編 2001年1月34号)

\* 一般社団法人・全日本船舶職員協会(全船協)の海技関係を主とした機関紙「全船協技報」(1985年~2003年7月39号を以て休刊);

→ [https://www.zensenkyo.com/\\_bk/giho/35giho/deLiefde/deLiefde2.htm](https://www.zensenkyo.com/_bk/giho/35giho/deLiefde/deLiefde2.htm)

我母校に、アダムスの航海を研究していた先達がいた事が嬉しく 誇らしく、何とかして先生の知識と資料を引き継ぎたいと思っています。

アダムスの航海と初代大成丸世界一周航路との比較は、商船大教授ならではのもの、失礼ながら”流石!”と感服致しました



**7 航海の方法**

15世紀末に幕を開けた大航海時代でもあった。したがって、航海術は国家存亡に関わる機密事項に属し、それでは、ウィリアム・アダムス

**(1) 海図**

ヨーロッパでは12世紀頃から十字航海に利用されるのに対応してポルトガルの方位盤(Wind Rose)から、方角16)、後者は11.25度(=360/32)を定めた。さて、1549年8月15日、尾形徳次郎に到着した。これを契機、それから2年後の1551年1月20日、このポルトガル船が使っている「南緯地図(毛日本地図集成)」(東京)

「ポルトガル人が日本へ来るようになったのは当然である。そのあるものは本のみを1枚の地図に描いたものもパンの姿を西政の舞台に上げさせた「南緯地図の特異性は、ほとんど一つとして印刷されたものはない。手書きのもの、つまり、複製の地図は1枚しかなく、希少価値がある反面、あたら名図が永久に船とともに沈んだり、船に奪われようとして焼き捨てられたりし

同時に、海上覇権争奪の激しい時期に際して保護されており、それらの情報もあろうか。

を渡し、羅針盤(磁気コンパス)がは、海図上のところどころに描かれた前者の1分画は22.5度(=360/16)をにらみながら船の進行方向をザビエルは、52日目の10月6日、去ったことはよく知られている

ルの海図について

ポルトガルの中に取り入れていた日本を描き、特殊の例としては日本のジバングと異なり、現実の国や

とに初期のものは徹底している。どライバル国への秘密保持の大切さからである。そういう事情のため、1枚



南方鍼路図 (東京国立博物館)

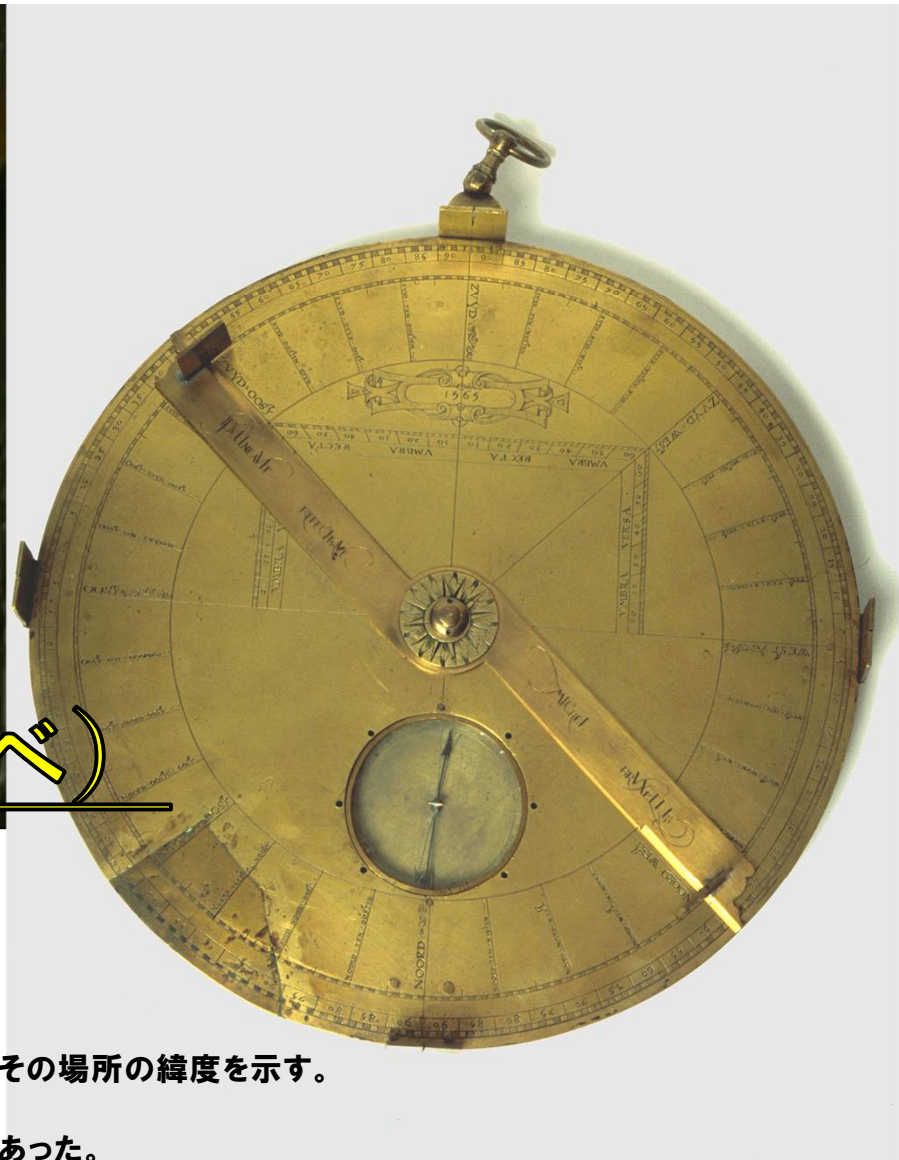


橋本 進  
元東京商船大学教授

## ヤコブの杖(クロススタッフ)



## Astorolabe (アストロラーベ)



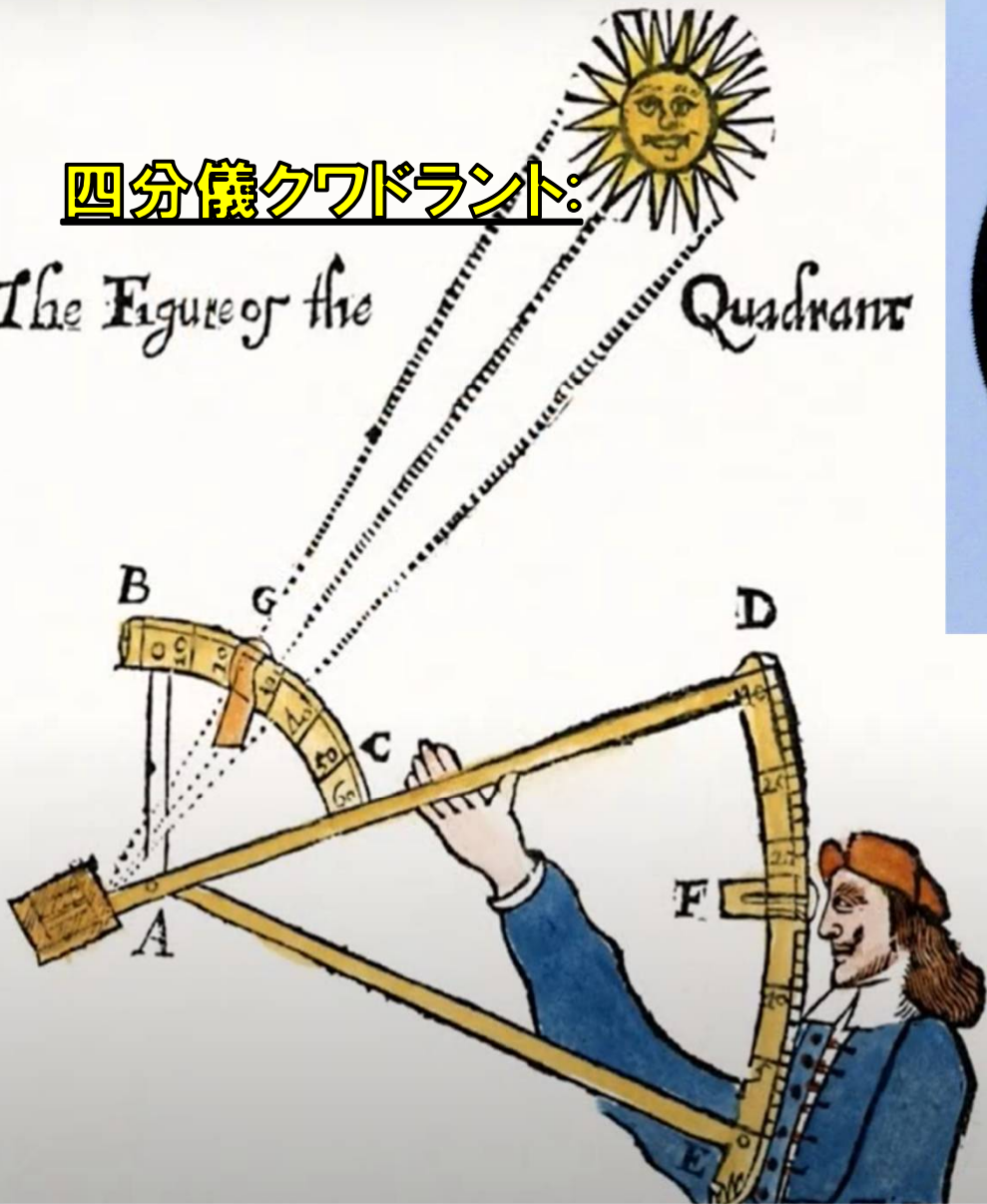
初期の天体観測の為に用いられた器具で、高度測定の為の機構としては、外周の円に、角度の目盛が刻み込まれ、中央の指針が回転する仕組み。

手で吊下げるように持って、中央の指針を回転させて、太陽に照準を合わせて、針の指す角度がその場所の緯度を示す。

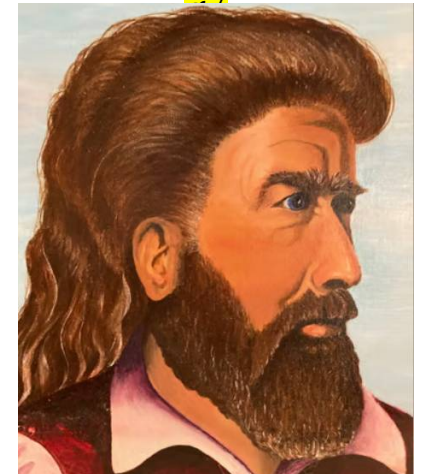
アストロラーベは単なる高度測定器なく天文学の器具であり、主に天体の位置を求める計算機であった。また、緯度を与えられた時に地方時間を決めること、三角測量の計算をすること等の様々な用途に使用された。航海用としては、高度観測機能に特化して使用され、そのために改良をされたものが残されている。

## 四分儀クワドラント:

The Figure of the Quadrant



<https://williamadamsclub.org/>



William Adams Club

### William Adams Clubのロゴ(上記)について;

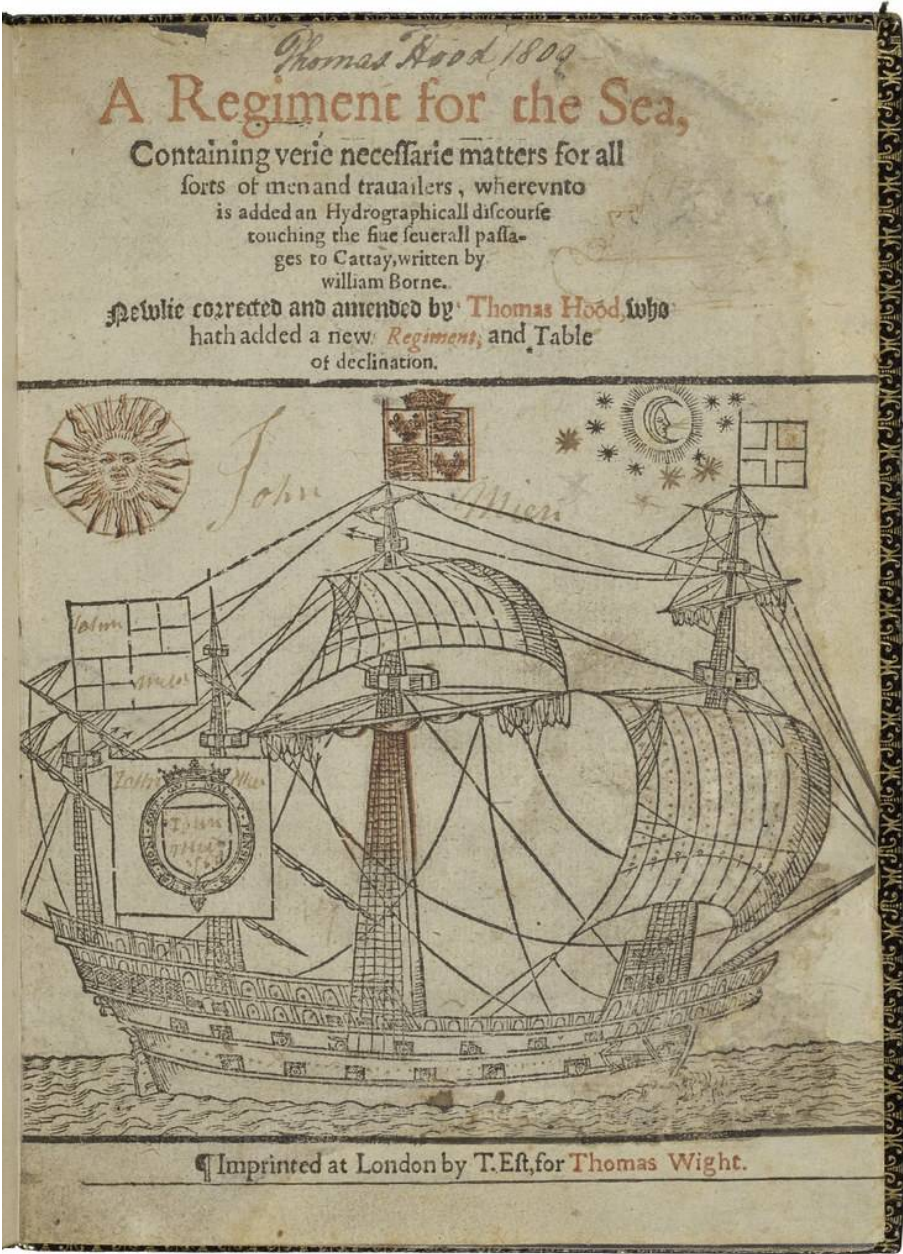
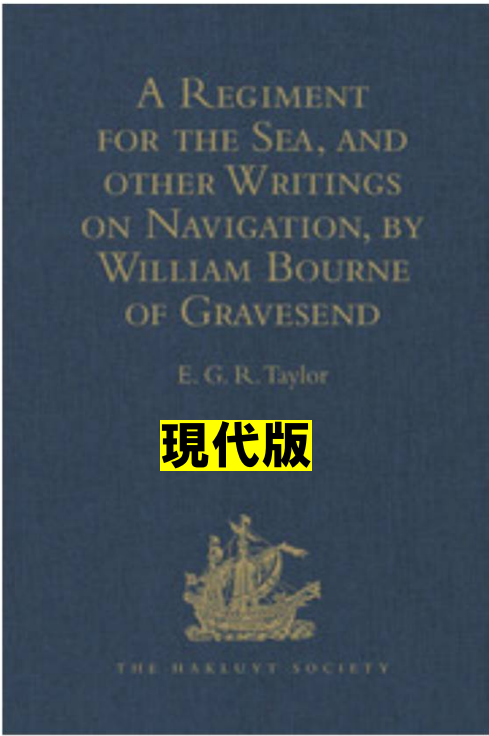
バックスタッフは、その後に続く六分儀の初期の試みでした。記念碑の彫刻は、デイビス船長が作成した「The Seaman's Secrets」というタイトルの時代の本から抜粋され、ディック(アーヴィング)によって分類されました。これは 1598 年に出版されました。私たちがこれを選んだ理由は、この本のイラストと日付がちょうどアダムスがロッテルダムからのオランダの事業に参加するためにイギリスを離れた時期と一致しており、この二人の登場人物が同じ社会の輪の中で活動していたのでほぼ間違いなくお互いを知っていたであろうからです。先駆的な船員たち。

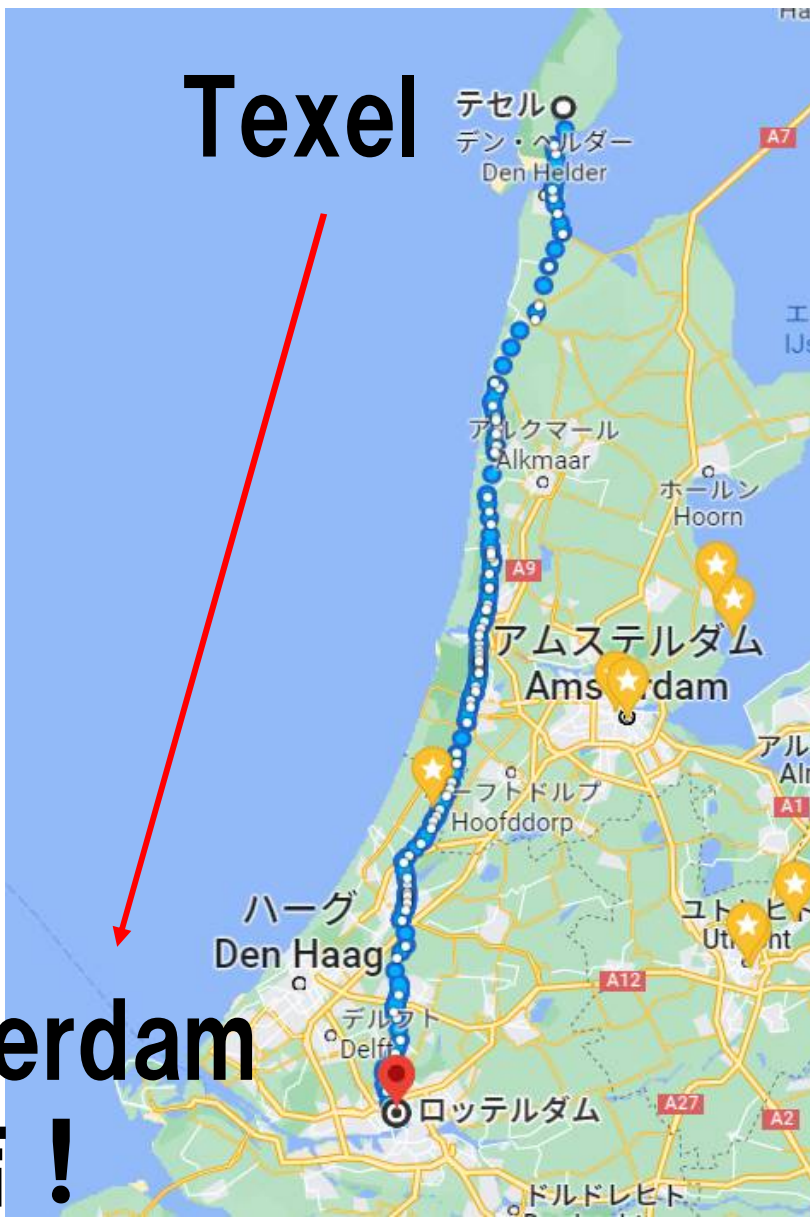
これは決して、WACが彫刻をアダムス本人であるかのように見せかけようとするものではありません。ただし、このイラストは時代を正確に示しており、時代ナビゲーターが読み取りを行っている様子を示しています。

(現・WAC会長ポールさんの解説)

1574

William Bourne's  
*A Regiment for the Sea*





Texel

Rotterdam  
集結！



1598年6月24日 5隻の船団 (マフー船団)



ホープ号(「希望」の意・旗艦)  
ヘローフ号(「信仰」の意・ロテルダムに帰還した唯一の船)  
トラウ号(「忠誠」の意)  
フライデ・ボートスハップ号(「良い予兆」あるいは「陽気な使者」の意)  
リーフテ号(「愛」の意)



# 675日の大航海

航跡図出典 = 英国人作家・ジャイルズ ミルトン氏“さむらいウィリアム”より

**三浦按針：**  
 世界初の“欧州～ホーン岬～日本”の壮絶な航海、  
 そして天下分け目の“関ヶ原の戦い”へ

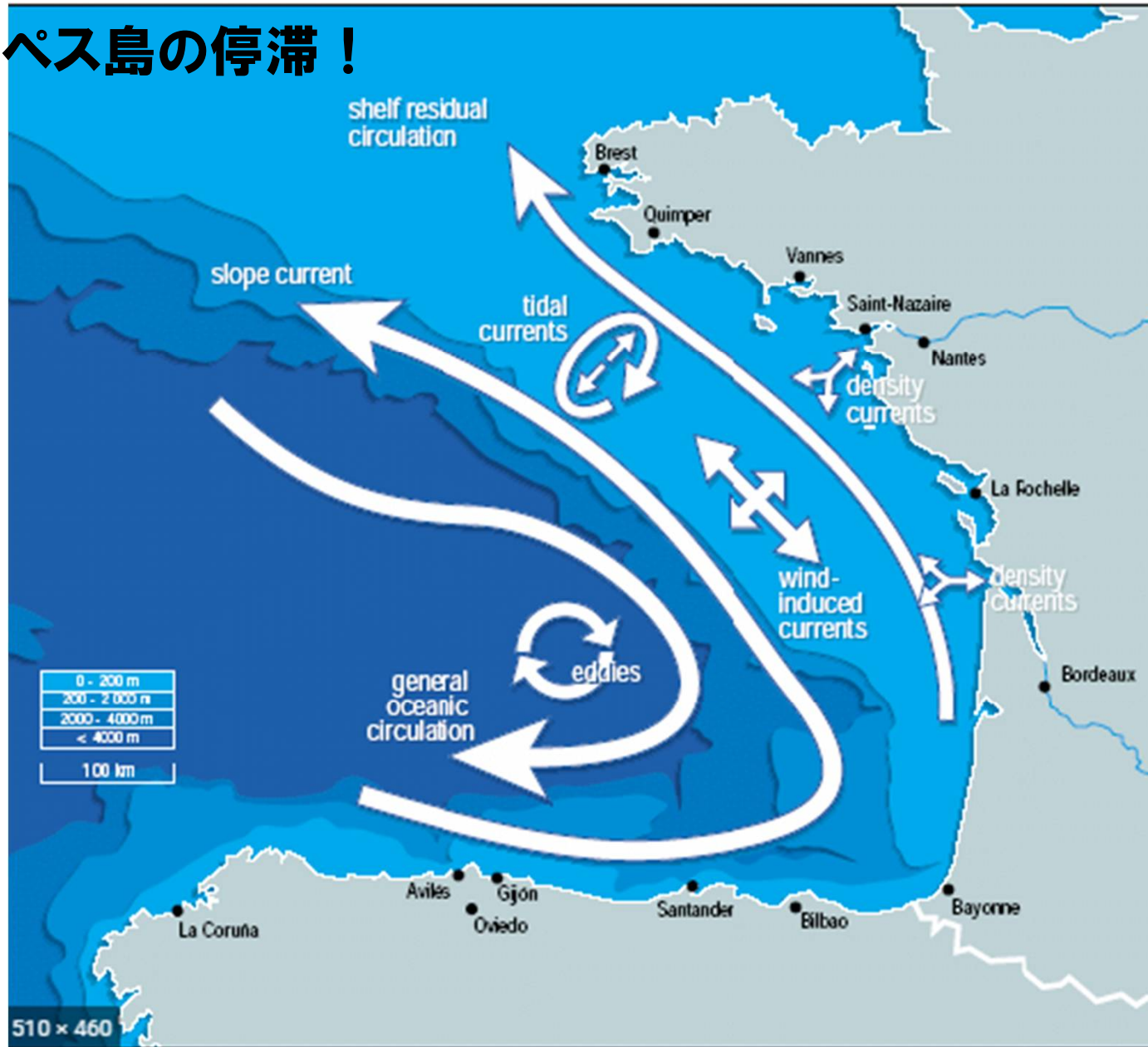


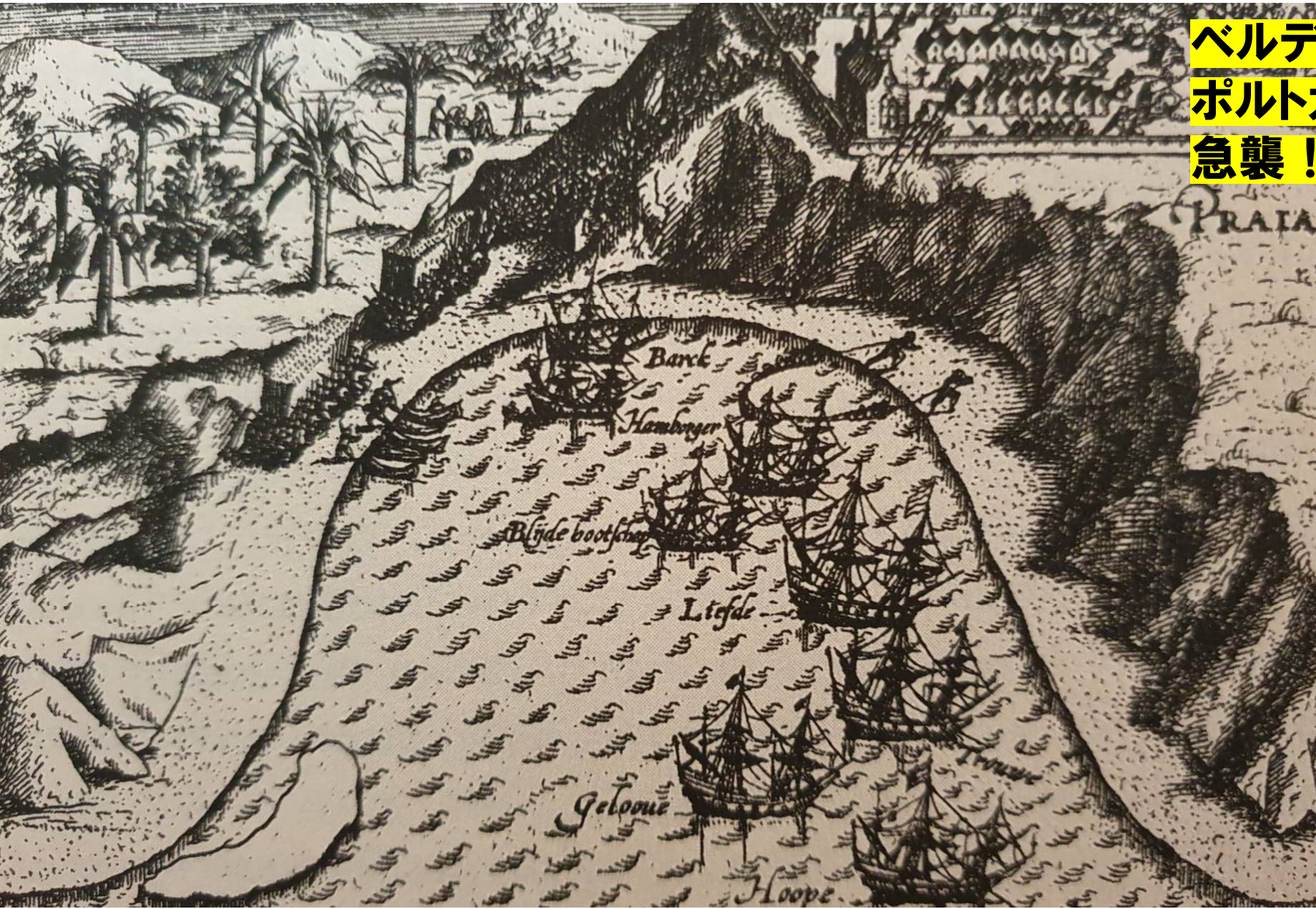
注：ポニン諸島 = 小笠原

○	ロツテルダム出港	5隻の船団で(ホープ号の航海士として)	1598年06月24日
①	ベルデ岬諸島	船団がプライア島のポルトガル守備隊を急襲	
②	ロベス岬	首長のもてなしは燻製カバ肉のシチュー	
③	アンノボン島	乗組員が赤痢にかかる	
④	マゼラン海峡	厳冬の嵐と現住民の襲撃(リーフデ号配置転換)	
⑤	モチャ島	原住民の襲撃で多数の死者	
⑥	ハワイ	8人の乗組員が逃亡	
⑦	ポニン諸島	生存者は24人のみ(出航時110人)	
⑧	日本(豊後臼杵・黒島)	リーフデ号のみ航行能力無くして漂流着(航海日数)	1600年04月29日
		(航海日数)	
●	大阪(堺)	漂流着後、2週間足らずで家康と引見	1600年05月29日
	美濃国不破郡関ヶ原	半年足らず後、天下分け目の“関ヶ原の戦い”	1600年10月29日

ホープ号("希望"の意・旗艦)  
 ヘローフ号("信仰"の意・ロツテルダムに帰還した唯一の船)  
 トラウ号("忠誠"の意)  
 フライデ・ボートスハップ号("良い予兆"あるいは"陽気な使者"の意)  
 リーフデ号("愛"の意)

# ベルデ岬～ロペス島の停滞！





ベルデ岬諸島  
ポルトガル守備隊を  
急襲！

Van  
Hulsen  
1626





Fighting Scurvy - "The sailors curse"

## 壊血病(Scurvy)との戦い！

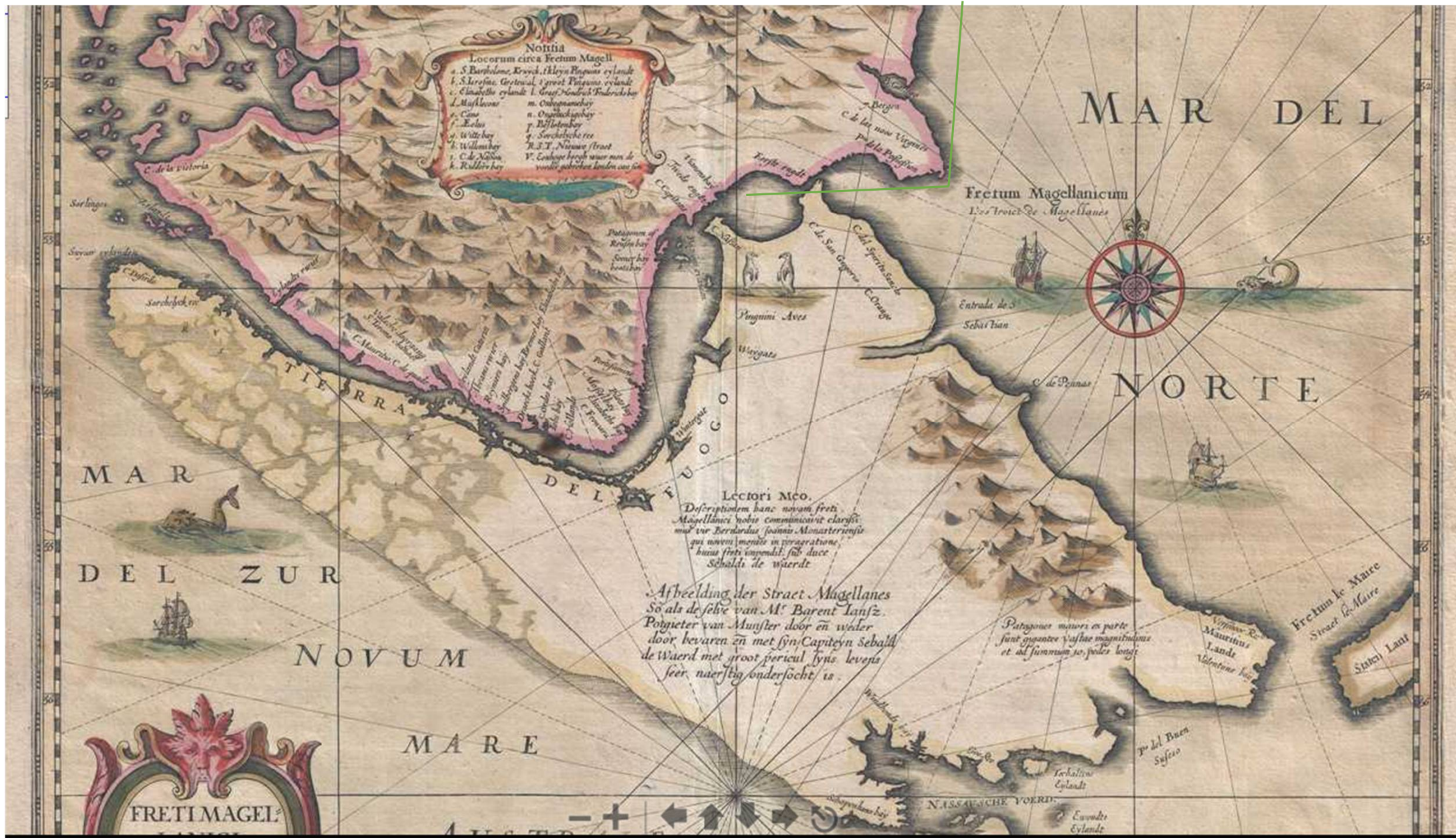
当時、壊血病は船員にとって、原因不明の呪いとされていた。

それが野菜不足によるものだと、誰も知らなかった。



*"We sawe the land in lattitude of 50  
degrees, having the windes a two or three  
days contrary."*

*William Adams*



**Notitia**  
**Locorum circa Fretum Magell**  
 a. S. Bartholome Kruidt. i. Klein Pigeons eylandt  
 b. S. Xofina. Geveval. i. groot Pigeons eylandt  
 c. S. Petrus. Geveval. i. groot Pigeons eylandt  
 d. S. Jofeph. Geveval. i. groot Pigeons eylandt  
 e. S. Jofeph. Geveval. i. groot Pigeons eylandt  
 f. S. Jofeph. Geveval. i. groot Pigeons eylandt  
 g. S. Jofeph. Geveval. i. groot Pigeons eylandt  
 h. S. Jofeph. Geveval. i. groot Pigeons eylandt  
 i. S. Jofeph. Geveval. i. groot Pigeons eylandt  
 k. S. Jofeph. Geveval. i. groot Pigeons eylandt  
 l. S. Jofeph. Geveval. i. groot Pigeons eylandt  
 m. Oudegansche bay  
 n. Oudegansche bay  
 o. Oudegansche bay  
 p. Oudegansche bay  
 q. Oudegansche bay  
 r. Oudegansche bay  
 s. Oudegansche bay  
 t. Oudegansche bay  
 u. Oudegansche bay  
 v. Oudegansche bay  
 w. Oudegansche bay  
 x. Oudegansche bay  
 y. Oudegansche bay  
 z. Oudegansche bay

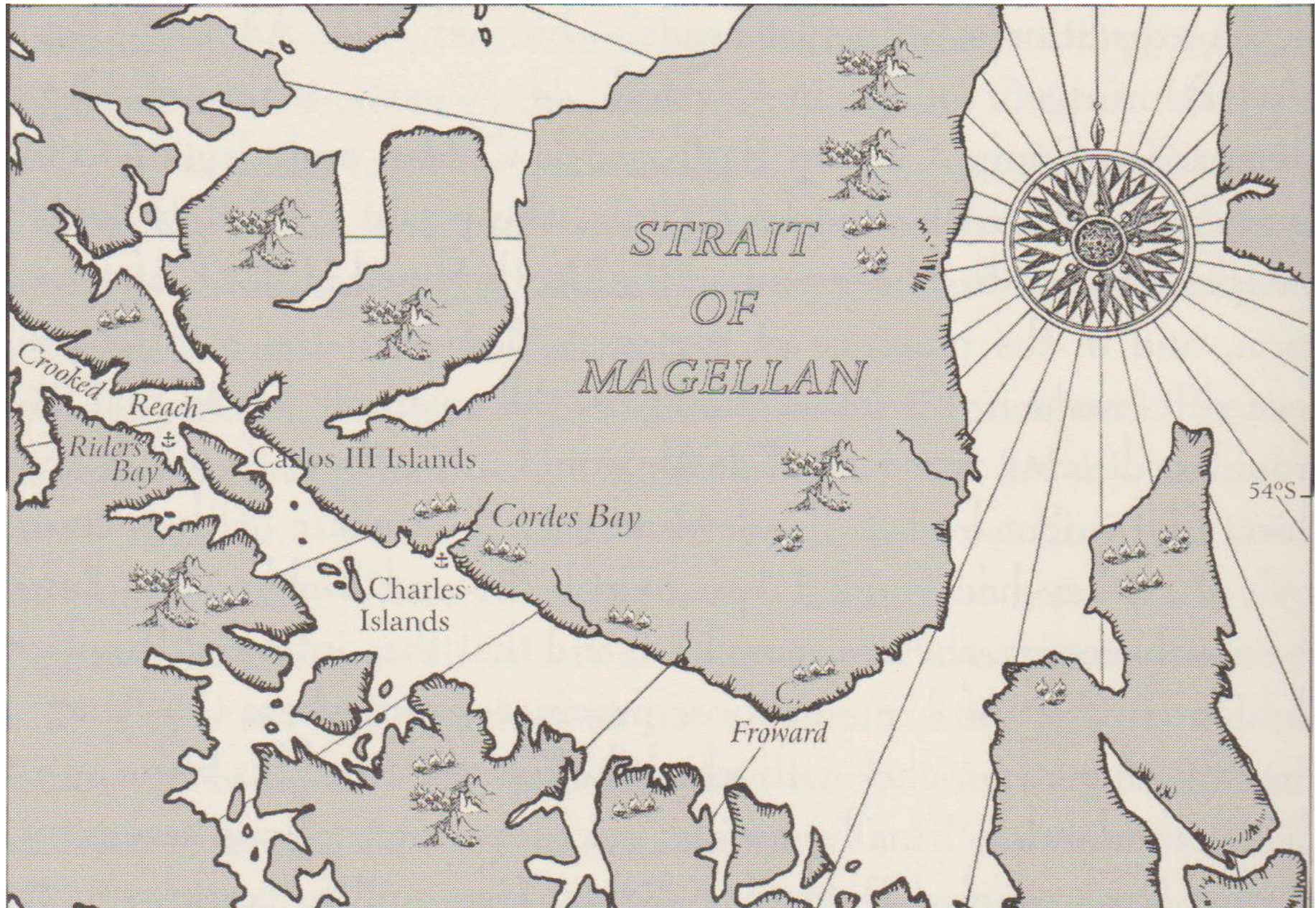
**FRETI MAGEL**

**Lectori Mco.**  
*Descriptionem hanc novam freti  
 Magellani nobis communicavit clariss.  
 mud' vir Bernardus Joann. Monasteriensis  
 qui novum mentis in peragrationse  
 hujus freti expendit. sub duce  
 Sebaldi de waerde*  
**Afbeelding der Straet Magellanes**  
 So als de selve van M<sup>r</sup> Barent Janz  
 Poyeter van Munster door en weder  
 door bevaren zn met syn Capiteyn Sebald  
 de Waerd met groot pericul hys levens  
 seer naerbyn ondersocht is

*Patagones majores ex parte  
 sunt gigantes vastae magnitudinis  
 et ad summum 30 pedes longi*

**N. I. S. S. A. E. N. S. C. H. E. V. O. E. R. D.**

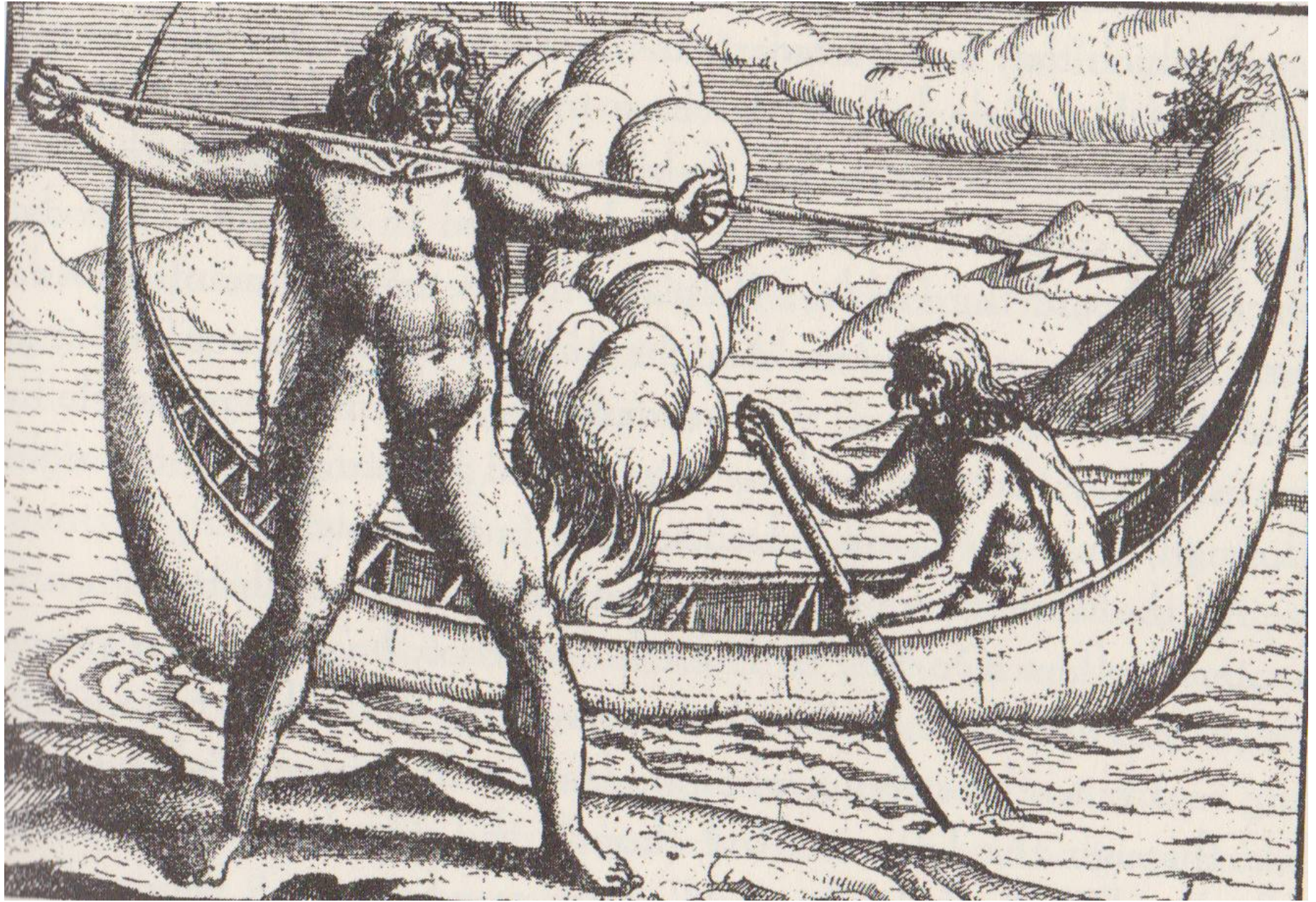








Van Hulsen 1626







Chile



Arica

Santiago

Concepción

Punta Arenas



Pacific Ocean

Santa Maria Island

Arauco

Mocha Island

Maule Region

Chillán

Concepción

ARGENTINA

Los Ángeles

The Auracania Region

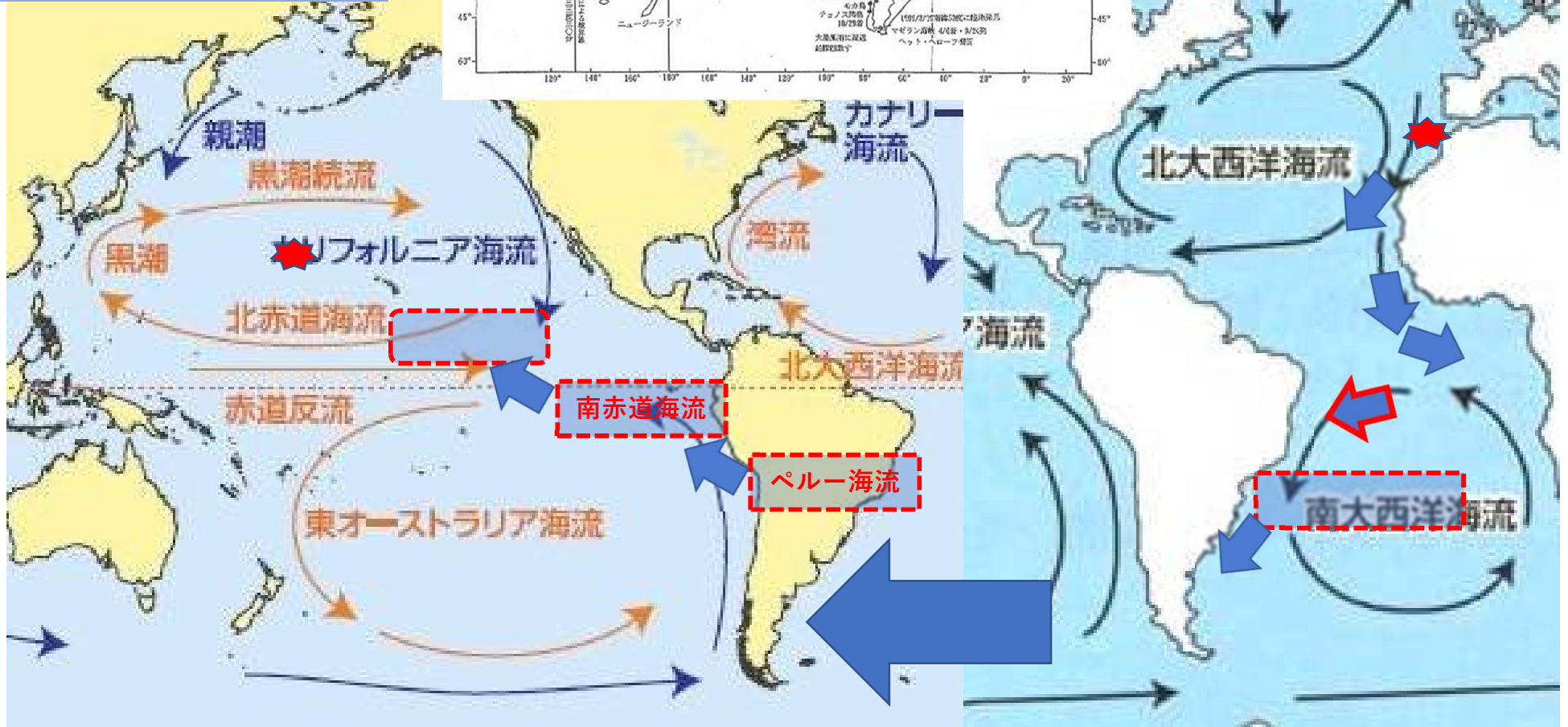
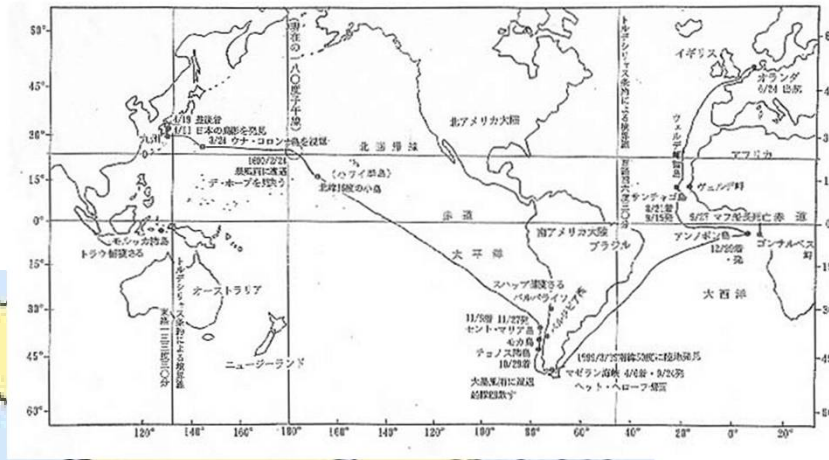
**Provinces**

- Ñuble
- Concepción
- Biobío
- Arauco

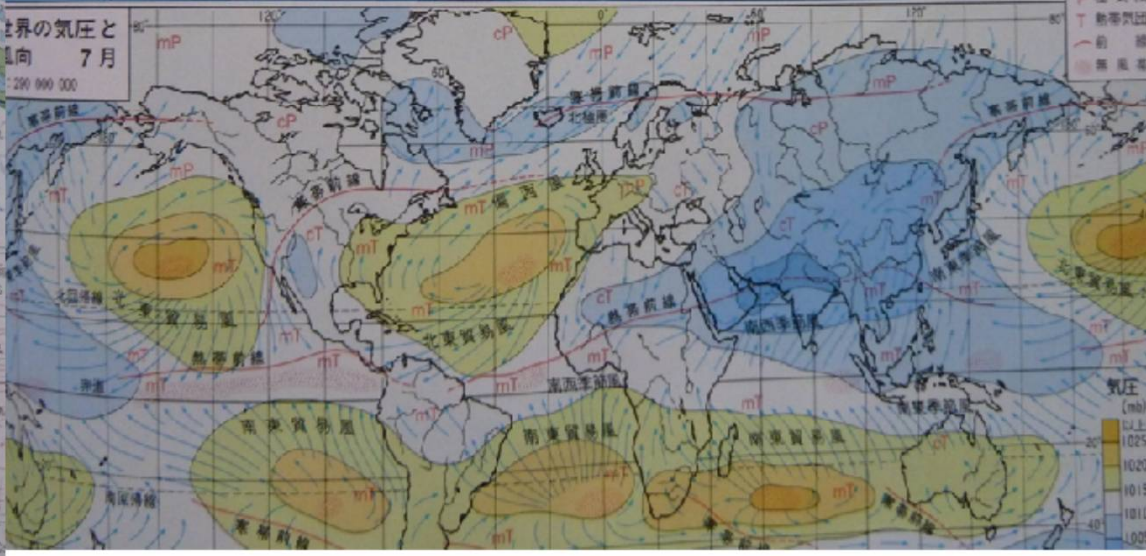
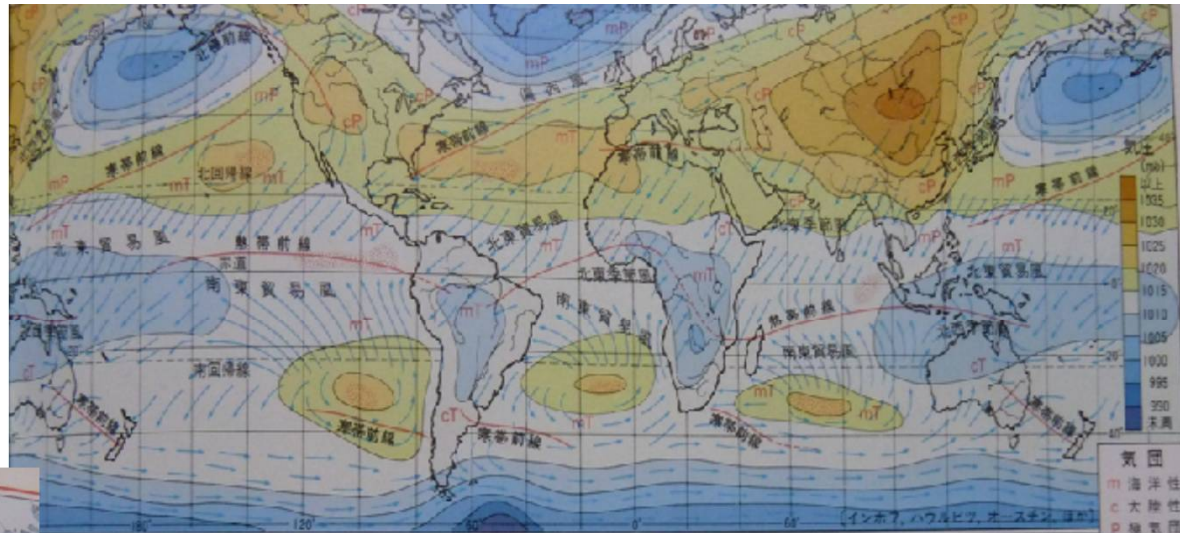
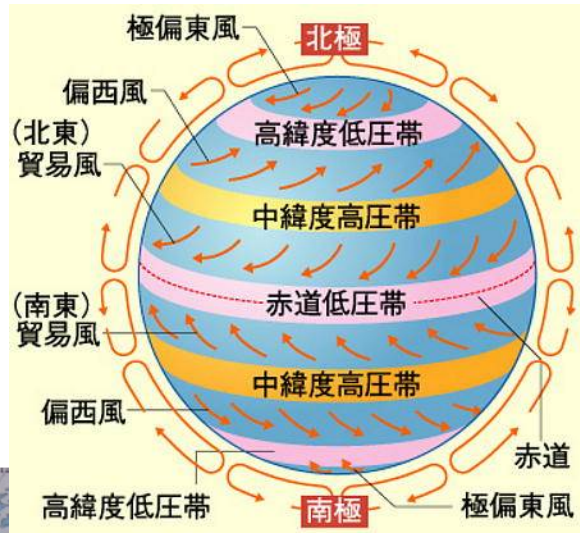
20 0 20 40 Km



# 航跡と海流

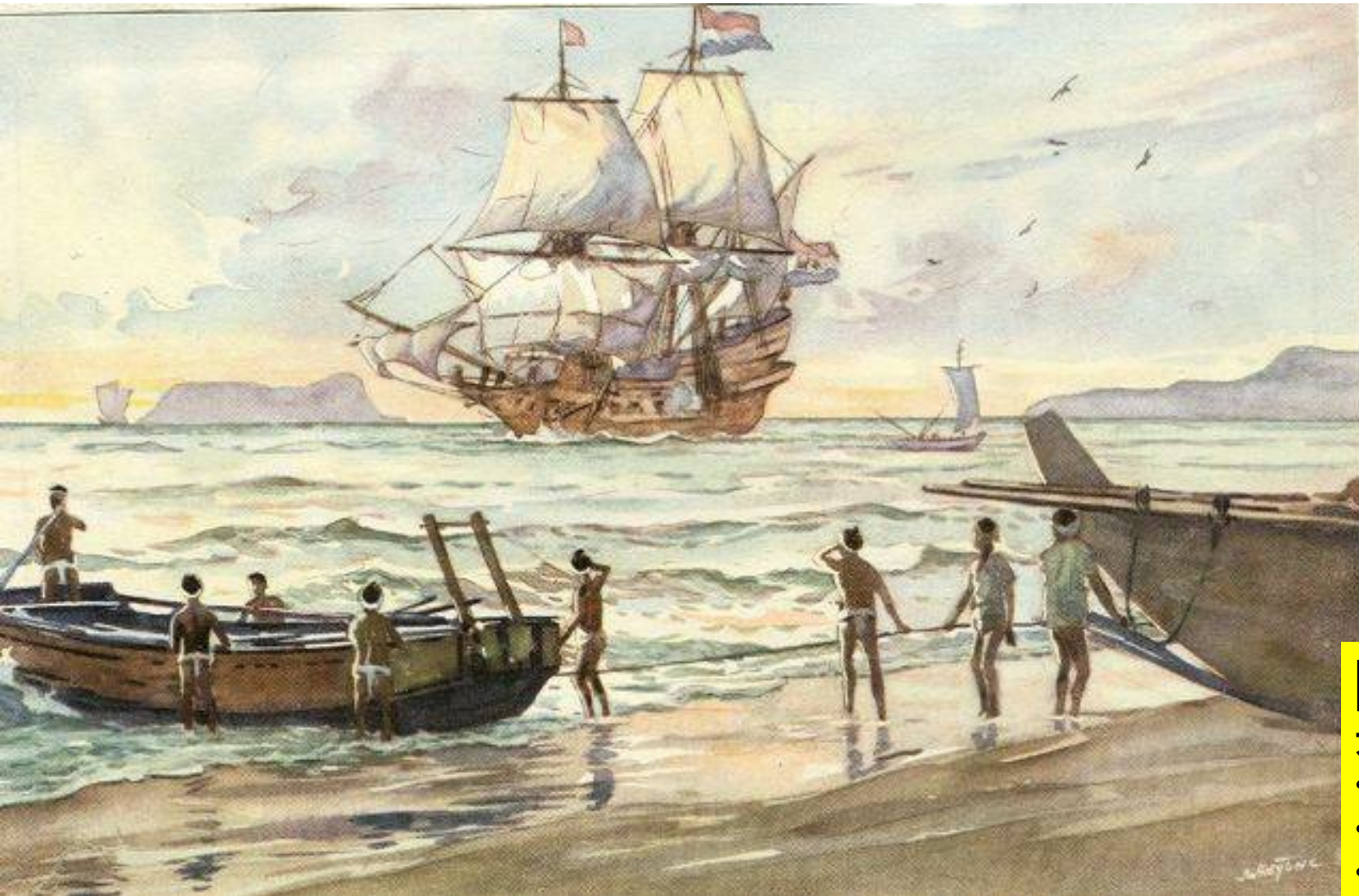






# 気流





**19 bronze cannon**  
**5000 cannonballs**  
**500 muskets**

**APRIL 1600, USUKI (KYUSHU)**

- 【リーフデ号の積荷】**  
大量武器が積み込まれていた
- 大型大砲19門
  - 小型大砲12門
  - 銃500丁
  - 砲弾5000発
  - 火薬2500kg
  - 鋼鉄製の甲冑

## 675日の壮絶な大航海の結果

オランダ出港(5隻・491名)が、豊後・黒島漂着時わずか24名、うち生存者・**18名**  
(歩行ができる者は、**5、6名のみ**)

the one with the other, that was no cause that he should  
put vs to death.

“Great was the misery we were in, having no more but  
nine or ten men to go or creep upon their knees: our  
captain, and all the rest, looking every hour to die”

In the end, the Emperour gave them

- 白石一朗著「三浦按針の生涯 航海者 上/下」(文春文庫)が面白い。
- アダムスの「日本への大航海」の詳細は、You-Tube動画で下さい  
<https://www.youtube.com/watch?v=cUrbGB6SmLs&t=11s> →



## 家康との邂逅

幕末黒船来航が、明治へと大きな転換をもたらしたとするならば、  
**近世の幕開けをもたらしたのは、家康と三浦按針との出会いにあった。**

大島昌宏著「海の隼」あとがき：  
これほど異色の取り合わせであり、地球儀的規模を持ち、かつ運命的な出会い  
というものは、日本の歴史上でも他に類を見ないのではないだろうか。  
二人の出会いが、その後の日本の方向性を決めたと言うのは、  
言い過ぎではないと思う。



- \* アダムスの豊後(大分県)漂着は、幕末の黒船来航に匹敵する。
- \* 1600年(慶長5年)、16世紀から17世紀へ、我が日本国史に於いての中世史から近世史への分岐点であった。
- \* 「関ヶ原の戦い」の数か月前、新しい時代の覇者“徳川家康”との出会いは、奇跡と言える。(日本の幸運！)
- \* 前述したように1600年前後は世界・日本史の大転換点でもあった。
- \* その象徴である“アルマダ海戦”を体験した按針が、家康に世界の激動を伝え、幕藩体制確立・外交施策に影響を与えた。(アダムスは、初めての来日イギリス人であり、初めての英和・和英訳者である。)
- \* 家康におもねることなく自らの信条に忠実であり続けた英国人。(終生望郷の思い)
- \* スペイン・英蘭と対立関係、更に英蘭の間での確執関係を超越した公正さと自己抑制する姿勢。  
→ 現在の英蘭でのアダムスの評価が高くない理由の一つか？
- \* 按針の書簡で、日本について、「性質善良 非常に礼儀正しく、かつ武勇に優れた国民。捷を破ったものに処罰が公平厳格に執行さる。秩序整然として政治が行われ、世界中で日本以上に善政の布かれている国はない」と語っている。日本の複雑な礼儀作法について理解を示していることもまことに不思議だ。

# 年表で見る“William Adams” vs “徳川家康”

日本史の中世と近世を切り分ける1600年関ヶ原合戦の直前、奇跡の邂逅！

BC	1543	1564	1576	1587	1588	1596	1598	1600	1603	1606	1607	1608	1609	1610	1612	1613	1614	1615	1616	1619	1620	1635
世界				英西戦争(1585-1604年)				1604年ロンドン条約														
三浦按針	0歳	12歳	23歳	24歳	32歳	34歳	36歳	39歳	42歳	43歳	44歳	45歳	46歳	48歳	49歳	50歳	51歳	52歳	55歳	56歳		
	ジリンガムに生まれる		船大工奉公 - 12年間	アルマダ海戦に参戦		オランダ東洋遠征隊(5隻)航海士としてRTM出港	(4月)リーフデ号の豊後漂着		伊東で日本初西洋式帆船建造(80トン、その後120トン)	「三浦按針」三浦郡逸見村250石の旗本		平戸商館(オランダ)設立に貢献	サンブエナベンチュラ号をスペインに貸与。メキシコに渡る		英国司令官ジョン・セーリスの来日 平戸英国商館設立の貢献。 商館員として契約	琉球に渡航。さつま芋の土産		シャム(バンコク)への航海	安南(ベトナム)へ航海。 トンキン(ベトナム北部)へ航海	英国商館を退職。	平戸にて病死	
徳川家康	0歳	21歳	33歳	44歳	45歳	53歳	55歳	57歳	60歳	63歳	64歳	65歳	66歳	67歳	69歳	70歳	71歳	72歳	73歳			
	岡崎城にて誕生(松平広忠・嫡男)		禁教令(秀吉)	1587年の禁教令(パテレン追放令)		1596年の禁教令		(5月)大阪城で5大老筆頭として按針に尋問 (10月)関ヶ原で勝利(リーフデ号の武器採用)	征夷大將軍				慶長14年9月の大船没収令		4月21日慶長の禁教令		大阪冬の陣	大阪夏の陣	キリスト教徒(隠れキリシタン)の発見と棄教(強制改宗)	鎖国令「二港制限令」島原の乱	元和の大殉教	大船建造の禁

年齢差 = 21歳

# 按針の名前の由来は？

スペイン帆船を江戸湾に嚮導(きょうどう)した腕前をみて、家康は、彼こそが真の「按針」と賞賛した。

【按針(アンジン)】  
「デジタル大辞泉」より;  
磁石によって船の航路を決めること。  
また、その人。水先案内。按針手。



パイロット・ボート

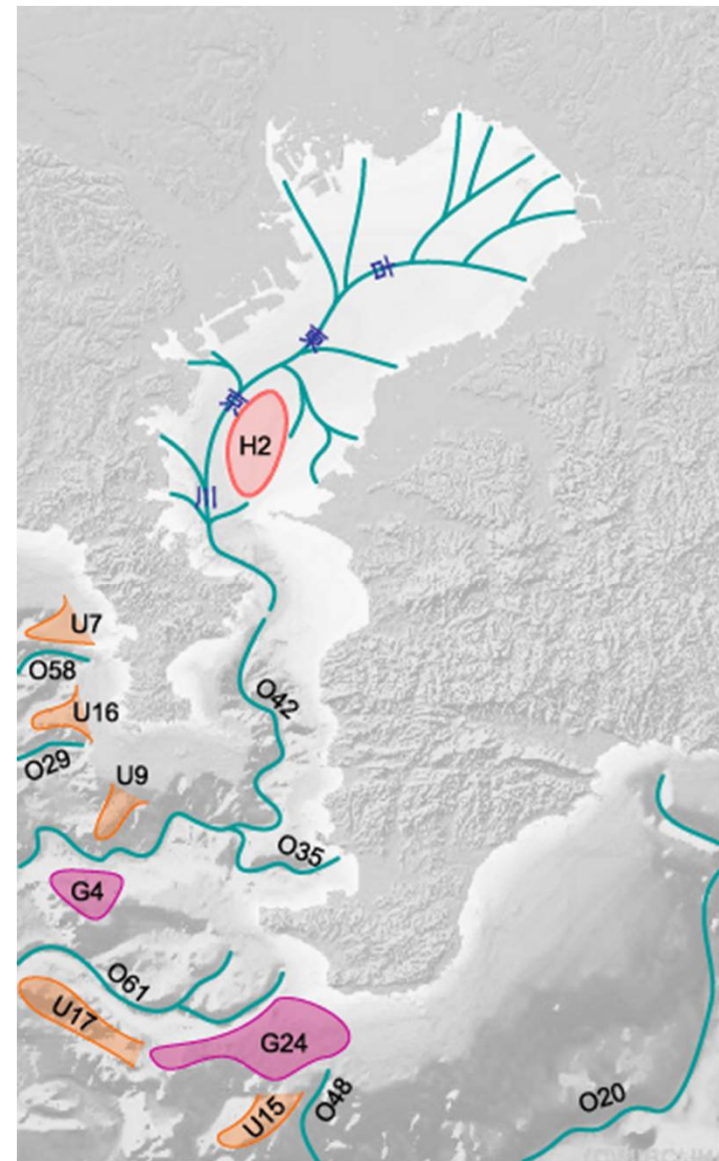
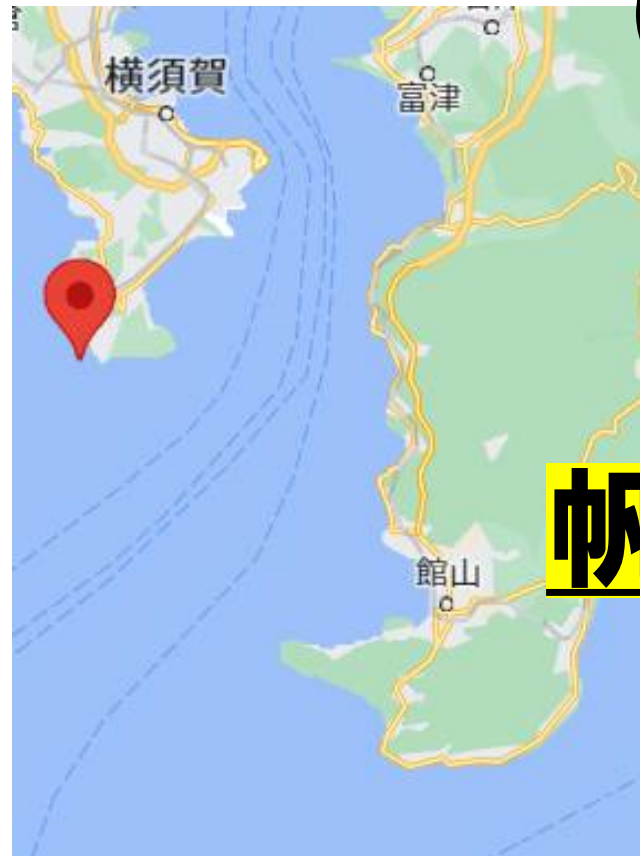


# 黒潮と東京湾 (古東京川)



**自然の要塞**

**帆船航海の難所**





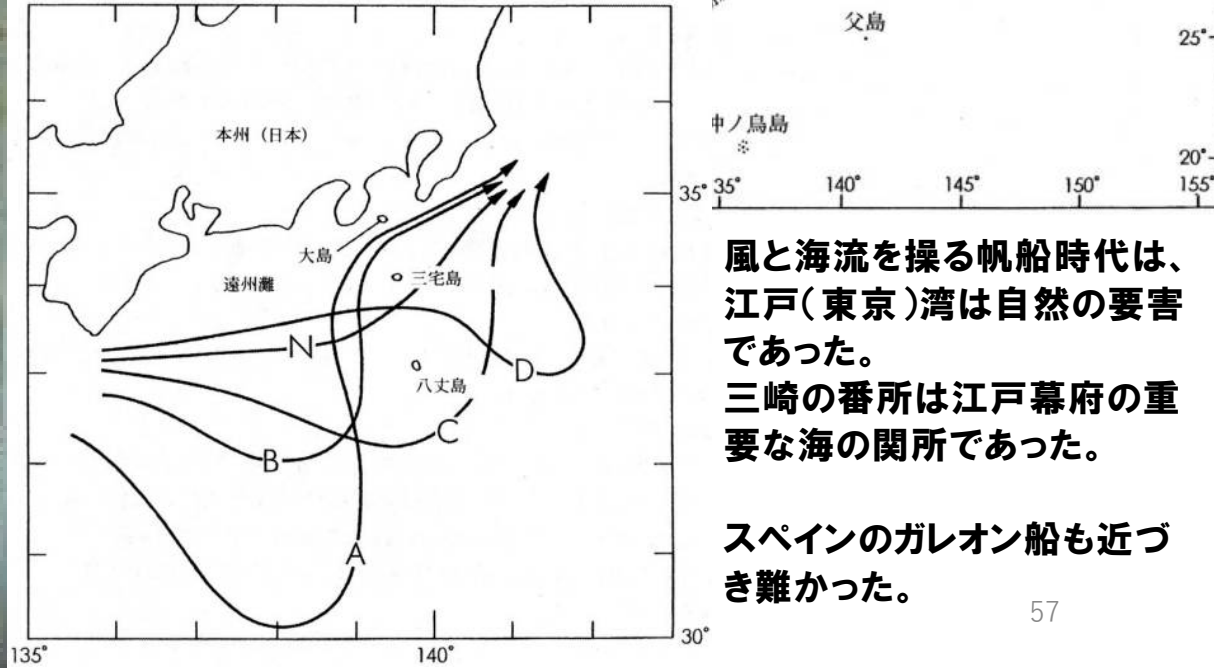
## <三崎、走水番所>

幕府は治安維持のため各地に関所をもうけましたが、江戸湾口の海上警備として三崎と走水に海関（海の関所）を置き、三崎では上り船が、走水では下り船が監視されました。両番所には旗本が奉行となって与力、同心が詰め同心がその実務を担当しました。

この三浦、走水番所の奉行は海に関する一切の業務を掌るばかりだけでなく、慶長期（1596～1614）に三浦郡の代官頭長谷川長綱、長重（長綱の甥）が亡くなり、陣屋が廃止されると、1648（慶安1）年には両奉行が三浦郡の一部を除いた代官職を兼ね、幕府直轄領の年貢米の上納などをして、村政を統括していたとみられています。



第1-11 図 黒潮の大蛇行現象



風と海流を操る帆船時代は、江戸（東京）湾は自然の要害であった。  
三崎の番所は江戸幕府の重要な海の関所であった。

スペインのガレオン船も近づき難かった。

# 三浦按針の造船と影響



- \* 伊東での日本初西洋式帆船建造の謎？
- \* 日本造船・海運への影響（江戸時代） & 世界との比較
- \* その後、現代に至る影響 — 東京商船大学(海洋大)との繋がり
- \* 今後の海運・造船の激しい革新化(自律運航船)に活かすべき”チャレンジ魂”

- 資料は皆無の理由は、
- \* 家康の軍事秘密（石工の謎）
  - \* 職人口承（欧州・日本）
  - \* 伊豆の大地震・津波（2度）

## Adams/按針の造船に関する一次資料はない！

海事史学会でガレオン船に詳しい山田義裕氏の情報・コメント



小生、長年16-17世紀のスペインとポルトガルの造船及び航海術、その日本への影響を主テーマとして、勉強しております。日本で造られた当時の洋式船に極めて関心がありますが、何も資料が残っていないのが現状と理解しています。

それは日本だからということではなく、ヨーロッパで造った船でも、同じ状況です。

それは船の種類、トン数、大砲の搭載数、乗組員数が分かれば、史的記述においては十分であり、操船性能にかかわる点は船長、ピロートには関心がありましたがそれ以上の詳細は船大工以外の者にはあまり関心のないことであつたからです。

船大工にしても、ウィリアム・アダムスの例もそうだと思いますが、手元になら設計寸法のひな型を有していたわけでもなく、ましてや図面など全くありませんでした。船の建造は、船大工親方の経験だけに頼っていました。

ただ、スペインの場合は事情がことなり、17世紀初頭に勅令で、船の大きさに準じて寸法細目が詳しく決められていたので、トン数がわかれば、当たらずとも遠からずの船の姿が描けます。

さて、次にウィリアム・アダムスですが、彼は船大工の息子でしたが、若いうちに家を出て、航海術で身を立て、掲題の船を設計して造ったというのは、昔取った杵つかということでしょうか。

120tということですが、これはガレオン船というよりは、小型のガレオン船(スペイン語ではガレオンセツテと呼ぶことが多いようです)で、この辺りの大きさなら、出来たのかもしれませんが。

ということで、ご質問が「何かわからないだろうか？」ということでしたら、資料は見たことはありませんし、寸法など残っていることは上記の理由から、ほとんどないと思います。もし出てきたら、世界的に話題になる発見でしょう。

直接の資料がどこにあるかという見当ではなく、どのような船であつたかという推定でしたら、どのような目的で、どこまで接近するか次第ですが、それなりに出来ないことはありません。アダムスは英国人で、その船大工の家系を引いています。多くの時間乗っていたリーフデ号はオランダ船です。そういったことを考慮しながらの、論議は出来るでしょう。そのことがご質問の趣旨にどの程度そうものなのか、分かりませんが。

小生は現在、長崎大天主堂付属博物館の依頼を受け、26聖人の殉教の原因となつたスペインの漂着船の模型製作(製作はザ・ローブ)の監修をしています。これなども全く資料はありませんが、上記のようにスペイン船なので、かなりの推定ができるからです。

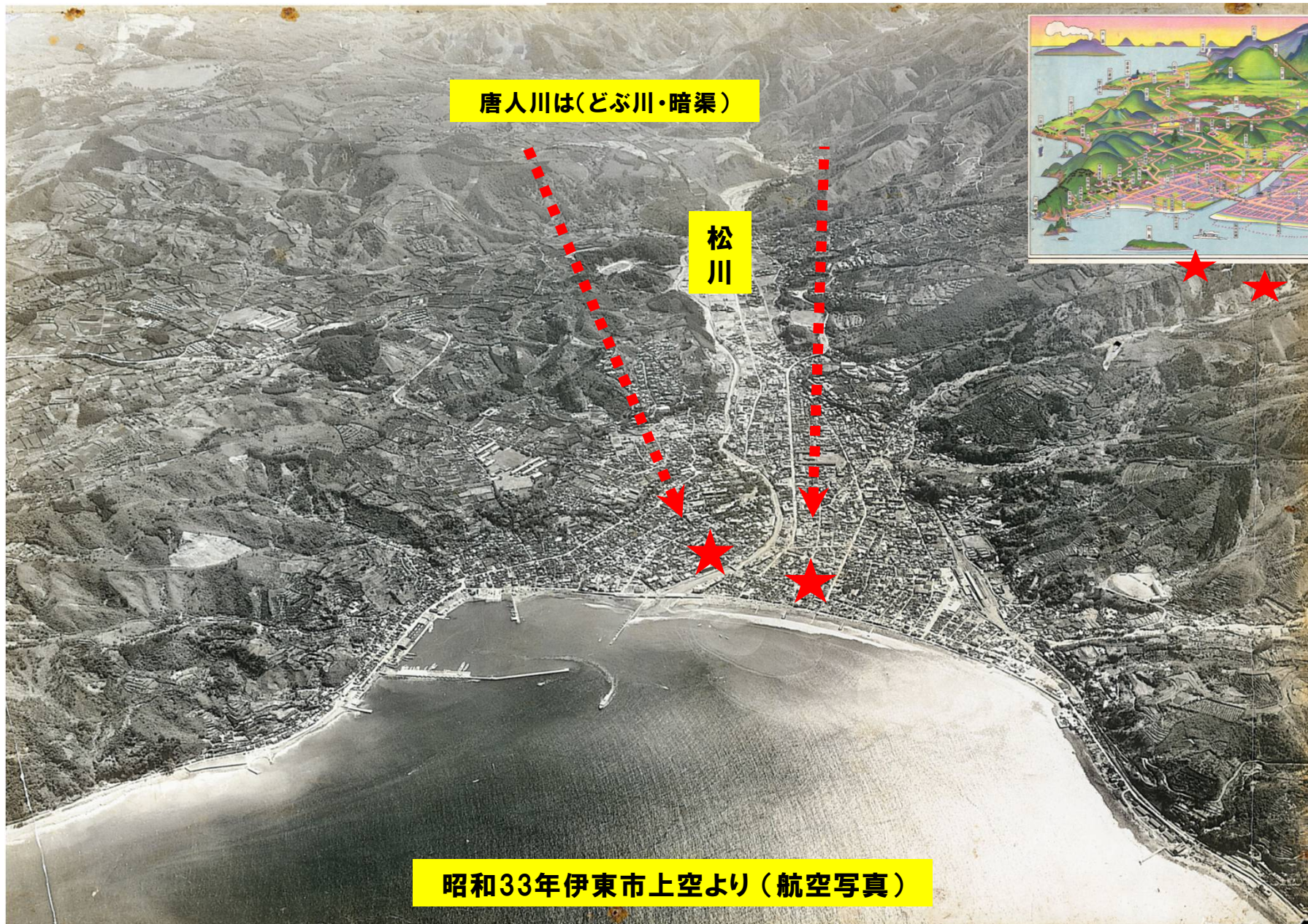
ご存知かもしれませんが、w. アダムスの乗っていたリーフデ号が描かれている17世紀のオランダの版画です。リーフデ号を見て書いたものではなく、当時のオランダのガレオン船のイメージ図と見た方が良いでしょうし、同号は300tと本格的なガレオン船です。この図は、一時帰国して3月24日の海事学会例会で「スペインのアメリカ植民地の二つの艦隊 - 海賊との戦い」を発表する際に使おうと思っているものです。

**伊東**に2つの説！

“唐人川説(右岸)”

対

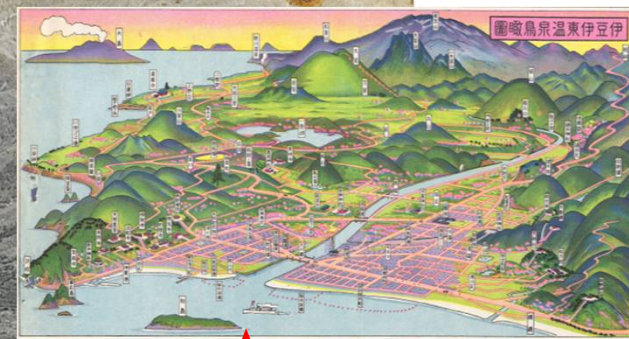
“砂ドック説(左岸)”



唐人川は(どぶ川・暗渠)

松川

昭和33年伊東市上空より(航空写真)

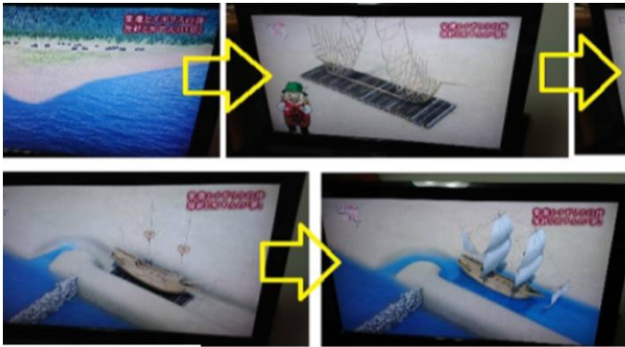


川奈

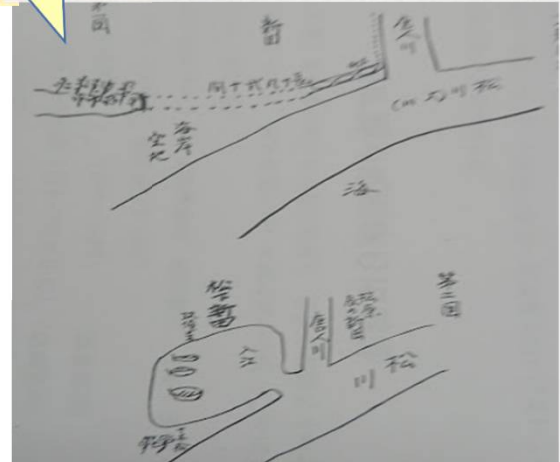
宇佐美

# 砂ドック説 v.s. 唐人川説 (伊東市展示にも2説)

砂ドック説(「慶長見聞集」三浦浄心)  
 (東海館・ジオラマ展示)  
 '19年4月NHKヒストリアにて放映



唐人川説(「玖須美百年史」鈴木茂)  
 (按針パーク・タイル画)



「玖須美百年史」鈴木茂氏  
 “唐人川脇に潟があり、造船の場とした。”

結論として、「慶長見聞集」記述に基づく“砂ドック”へを否定せざるを得ない

**“半作の比より砂を堀上、敷台の桧を少しつゞさけ、堀の中に舟を置き、…”**

の記述が砂ドック説に繋がっている。  
では、なぜ、その様な記述になったか？

~~~~~

- \* 三浦浄心の目撃情報でないと考える。
- \* 家康の最重要軍事秘密として進められたはず。
- \* 間近くでの目視・観察は、許されるはずは無い。

→ **当初の堀が、十分な深さがなく、途中掘り下げたか？**

録一六五頁、並夫召聘の交渉船として、幕府船として初めて太平洋を横断し、日本の航海史上に輝かしい一頁を飾ったのである。

造船に取り掛かった時期は、関ヶ原戦の直後であろう。造船に関しアダムスの相談役となったのは、船奉行向井政綱・将監志勝父子である。向井忠勝は、日本には船渠なるものはないからと言って、伝統的な造船の地として知られる伊豆伊東を勧めた。伊東には地形的に適切な河口があり、天城山を控えた良質な用材も豊富にあり、それに船大工が大勢いた。アダムスは、ピーテル・ヤンスゾーンを伴って伊東へ赴き、向井忠勝の公儀大工与十郎と船乗りの鹿之助・越之助、それに地元の船大工一〇数名を使役し、八〇トン船を竣工させた。造船地は伊東松川（大川）と唐人川の合流点にあたる河口と推定されている。このアダムス船の建造方法について、三浦浄心茂正なる人物が『慶長見聞集』に、こう記している。

浅草川の唐船ハ、伊豆の国伊東といふ浜辺の在所に川あり、是こそ唐船作るべき地形なりとて、其浜の砂の上に柱をしき、たいとして其上に舟の敷を置き、半作の比より砂を堀上、敷台の桧を少しつゞさけ、堀の中に舟を置き、此舟海中へうかへる時に至て河尻をせきとめ、其河水を舟のある堀へなかし、入水のちからをもて海中へおし出す……。

右の「浅草川の唐船」とは、アダムスが造った船をさす。当時の日本人は、中国船に限らず異国船を総称して「唐船」と称していたのであり、アダムスの船は英風式であったので、そう呼ばれていたのである。向井政綱の公儀大工らは、初めてアダムスの下で欧式帆船の造船を経験し、海外の造船技術に大いに刺激を受けたであろう。

## ② 按針造船の謎？

- 日本初西洋式帆船 … どの様な船？
- 造船法は、英式、蘭式 … 誰が指揮・監督した？
- アダムスのライムハウスでディギンズ親方の下での徒弟修業
- 造船の地・伊東とライムハウスの類似性
- なぜ、伊東が造船の地に選ばれたか？
- 伊東での造船に、2つの説（砂ドック説と唐人川説）
- 当時の日本の船大工の造船技量の高さ！
- 按針のコミュニケーション能力 vs。日本の英語教育
- 按針の造船・航海技術は、どの様に引き継がれたか？



## 当時の西欧での造船技術：キール・フレーム構造の造船

山田義裕氏の「17世紀のスペイン船とオランダ船の肋骨構造とその建造」(日本海事史学会例会2014年10月4日)を参考資料として、アダムスの造船@伊東を考察する時、

**伊東の“砂ドック説”は荒唐無稽なおとぎ話としか？**

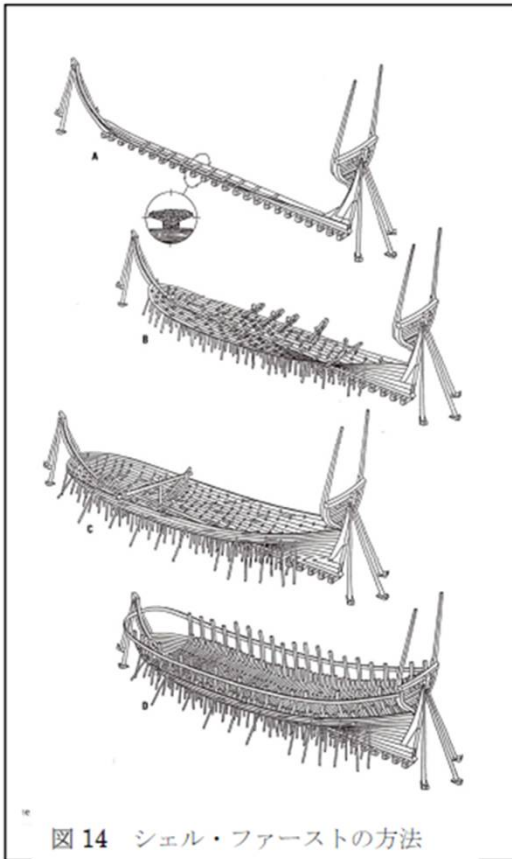


図14 シェル・ファーストの方法

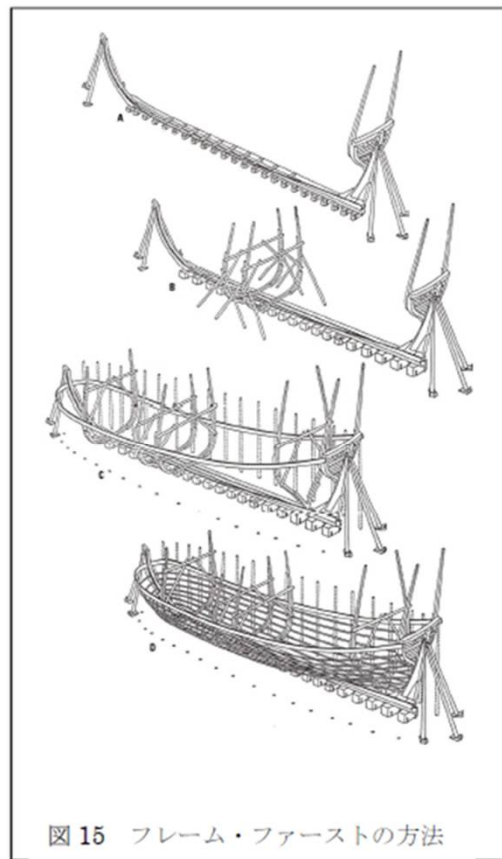


図15 フレーム・ファーストの方法

16世紀の終りにスペインでは造船の革新が行われ、無敵艦隊が英国に敗れ、海上の覇権を争うことになったのは英国とオランダであった。16世紀までは商船も軍艦もその設計、建造ともに大きな差はなかった。

● 船殻において、そのために最も重要な部分は肋骨であった。船の設計と建造方法

は、上記のスペイン、オランダ、イギリスの3国において異なっていた。

スペインでは船幅が船の主要な全ての寸法の基本であったが、オランダでは船の全長が、英国では竜骨の長さが寸法の基本であった。

● 船の建造、その中心となる肋骨構造の建造も異なっていた。

とりわけオランダのアムステルダムを中心とする北部では、昔ながらの船底の板張りから建造が始まるユニークな方法が採られていた。(英国の状況は K.N.バチヴァロフの論文「英国及び他の北方ヨーロッパ諸国における17世紀の軍艦の肋骨構造」から)

● 竜骨の上に据えられた肋骨構造:

フレーム・肋骨(人体の背骨(船は竜骨)と肋骨との関係をイメージさせるから)は、船体を大きく、また頑丈にするため発展。その過程で、大きな制約条件となったのが、それを構成する材料である材木であった。

(曲線の形状と材質が固い方が良く、オークの種類に限定されることとなったが、伊東での対応は?)

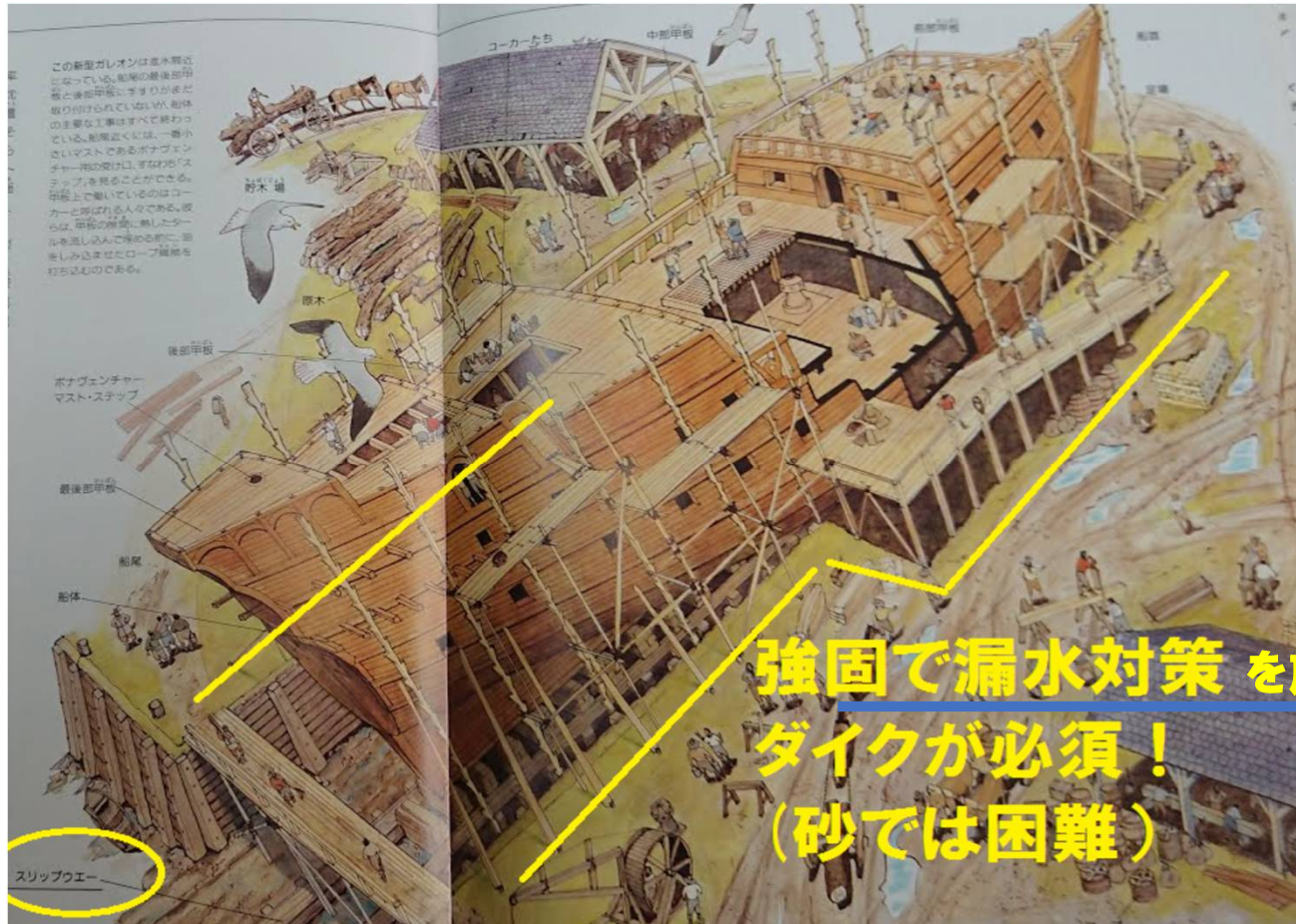
● 伊東の船大工の優秀性:

船体の強度上、なるべく一木で、継ぎ目がないことが望ましいが、それは無理なことで、何本かの材料を接続して肋骨を形成せざるを得なかった。船体の断面形状は、地方によって、また時代によって変化はしたが、基本的には円弧を組み合わせて設計された。従って、上記のヨーロッパ諸国においても、肋骨の形状、構造に基本的に大きな差はなかった。

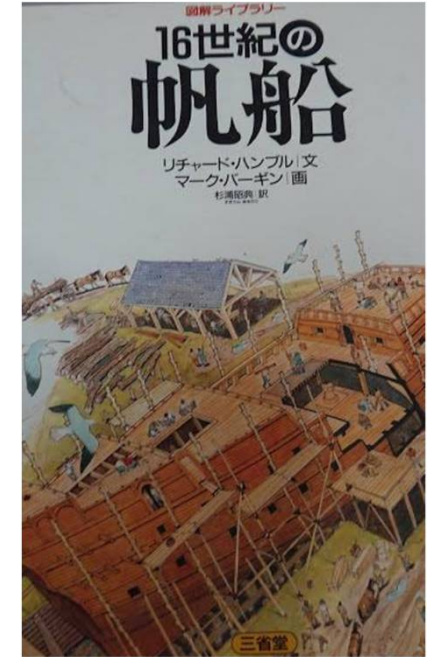
## 閘門（ドック）方式： 水密性のある「ダイク(堀)」が必須

16世紀末、帆船の型が、キャラック船(全長19m・例1492年・コロンブス新大陸発見)から、より大型・堅牢なガレオン船が大航海時代の主流として活躍する。(始まりは、1588年・アルマダ海戦の頃)

『16世紀の帆船』(Marry Rose復元時に出版)はガレオン船の造船法・航海状況が詳しく述べている。



↑ Marry Rose's construction



Richard Humble著

(Mark Bergin)

杉浦昭典・神戸商船大学名誉教授

Any historical data in UK for the construction of "Galleon" ship in UK &/or others incl. Holland? → 調査中

テムズ川の造船所の絵(VOCアムステルダム造船所)

グリニッチ海洋博物館



# オランダ造船所 VOCアムステルダムの造船所

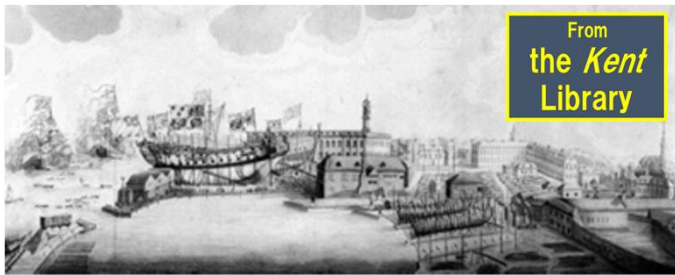


小川秀樹氏提供

# 英蘭 17世紀の“乾 (Dry) Dock”との比較

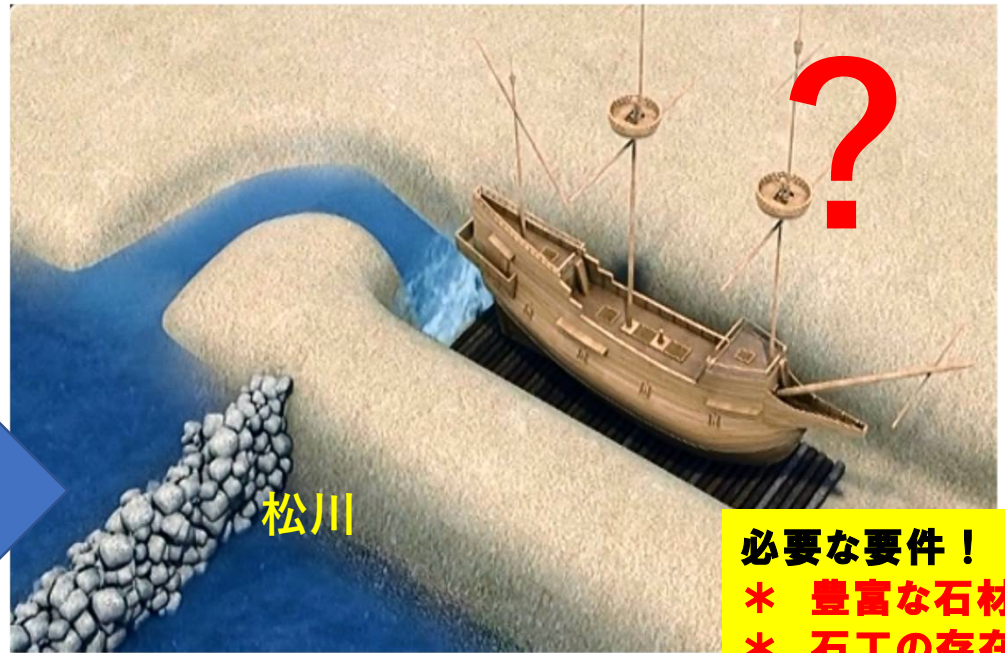


Full model of De Liefde



From the Kent Library

NHKの歴史ヒストリアより



**必要な要件！**  
\* 豊富な石材  
\* 石工の存在



"De Dok in Flushing, made in 1688."

オランダ国立国会図書館図書館・博物館  
「Memory of the Netherlands」より

【オランダ情報】  
オランダの図書館や博物館などに収められている文献、絵画、写真などが電子化された「Memory of the Netherlands」 ([www.geheugenvannederland.nl/en](http://www.geheugenvannederland.nl/en)) より引用した下記資料“オランダのガレオン船（リーフデ号模型）&フラッシング・Dry-Dock造船”と比較して、松川河口での砂ドック建造・進水を想定比較して調査中！

アダムの第2の手紙(バンタンにいた未知の友人宛、Oct.23,1611 付け)記述:

“The ship was built exactly the way they were already built in **our country**, ...”

この記述の“our country”は、英国、もしくは、オランダ・欧州、どちらを指しているのか？

- アダムスが、12～24歳の間、ライムハウスでの船大工修行を考える。(ディギンズ親方)
- もう一人、キーパーソンはリーフデ号の船大工ピーテル・ヤンスゾーン (彼の働きと、造船への貢献？)
- 宛先のバンタンにいた友人はイギリス人であったとされる。 故に、OURは、英国を指す。

【アダムス造船のKey Person・ディギンズ親方: Nicholas Diggins について】

\* 森良和氏情報

船大工の親方であるとともに、造船所の経営的なことも行っていたようだ。特に東インド会社が成立したあとは、会社関係の仕事を多く引き受けていたようです。(アダムスの同僚たちも同様)

出典は『英国国家文書要覧』Calendar of State Papers

・ Calendar of State Papers Domestic: James I | British History ...

・ Calendar of State Papers Domestic: James I, 1603-1610

● East Indies: June 1609

→ <https://www.british-history.ac.uk/cal-state-papers/colonial/east-indies-china-japan/vol2/pp185-187#highlight-first>

● Transactions - vol. 1: 1616-7

→ <https://www.british-history.ac.uk/london-record-soc/vol19/pp21-31#highlight-first>

\* 山田義裕氏情報: Diggins:ディジェンス

小生の例会の報告中のSovereign of the Seasの建造家Phineas Pettの自伝中に名前が挙げられ、それに編集者のPerrinがウィリアム・アダムスとの子弟関係という注釈を付しているのを知っている。

● Diggins or Diggensについて、山田氏の説明:

小生がNicholas Diggensを確認しているのは次の2冊が典拠で、いずれもDiggensとなっています。

1. Letters received by the East India Company Vol.1 (1602-1613) のW. Adamsの1613. 12. 1付けの書状

2. The Autobiography of Phineas Pett, edited by William Perrin

Calendar of State Papers にはDiggensと一緒にLimehouseのRobert Rickman, Mathew Woodcottが登場するので、多分同一人物でしょう。States PapersではRickmanがRyckmanと綴られているので、Digginsと綴られてもあまり不思議とは思われません。

**イギリス・ロンドン郊外**

**ライムハウス**

**(12年間・アダムス修行の地)**

**アダムスが12年間、ディギンズ親方の下、  
船大工(航海術)を学んだライムハウス！**

Limehouse 1588



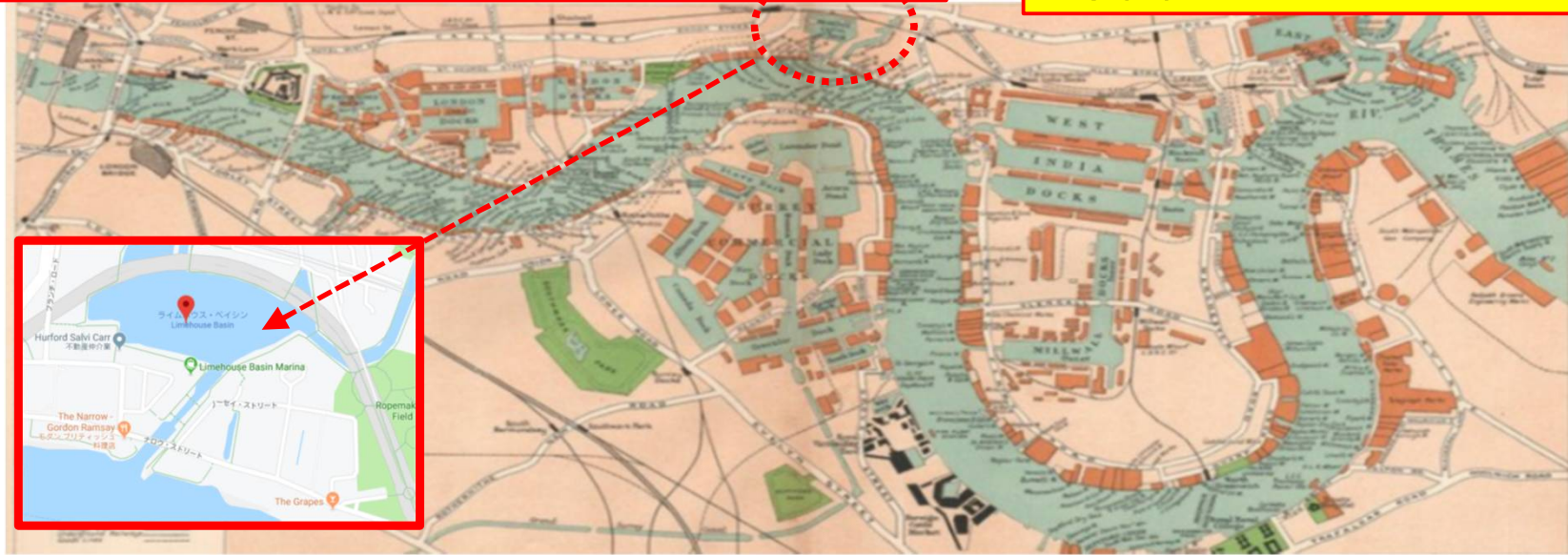


## そこで、ロンドン郊外Lime Houseを訪問(2020年9月)

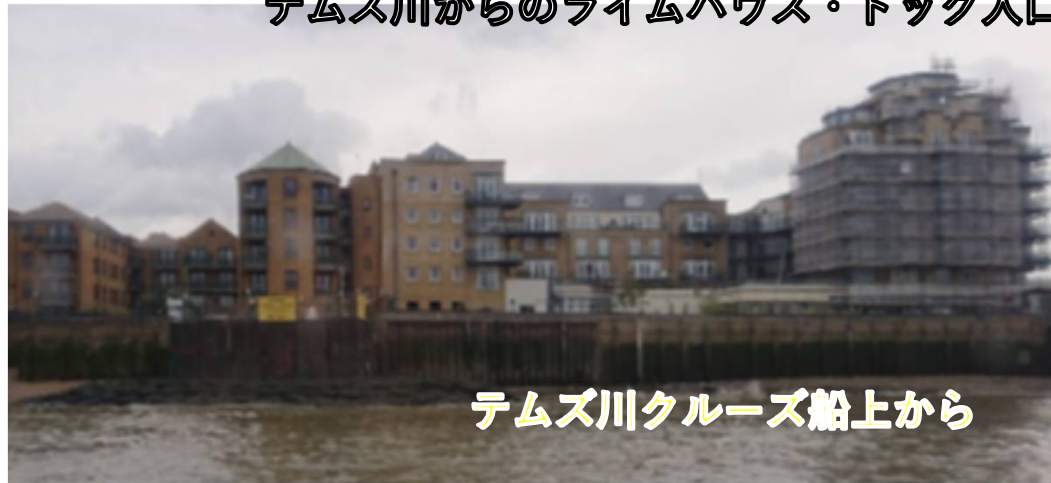
17世紀末：テムズ川・ライムハウス

Lime Houseに訪れた。  
テムズ川沿いに立ち並ぶ古いレンガ造りの  
Warehouse・Wharfが続いています。この  
辺りになると観光客はほとんどいません。

アダムも参戦したアルマダ海戦に大活躍した  
ガレオン船の多く、そして16~18世紀・大  
航海時代の覇者として大英帝国が世界に  
送り出した船団の多くがこのLime Houseの  
入江・潟を利用してのRiver Docks群で作  
られた。  
今、この一帯を、Dock Landと呼んでいる。



テムズ川からのライムハウス・ドック入口

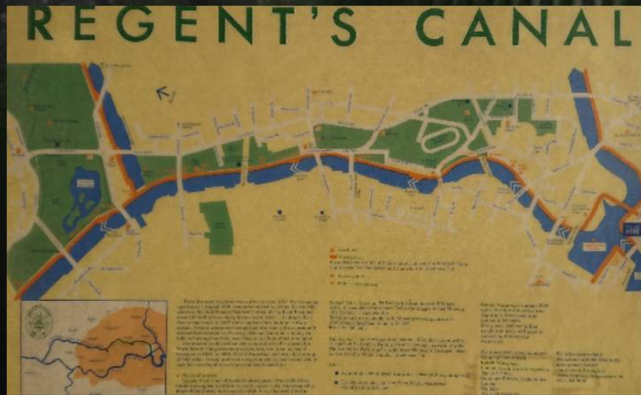


テムズ川クルーズ船上から



ライムハウス・現在

# 現在のライムハウス (ドック・エリア)



# 古地図に観る“Lime House Dock”: 1600

An electronic edition of John Strype's "A SURVEY OF THE CITIES OF London and Westminster" →

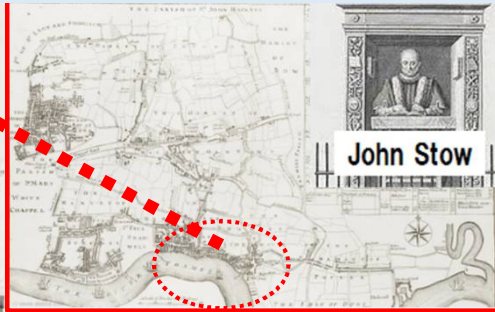
## Maps and Illustrations: John Stow's 'A Survey of the Cities of London and Westminster'

A MAP OF THE PARISH OF DONSTONS STEPNEY at STEEBUNHEATH Divided into Hamlets V2.B.4.P.47.

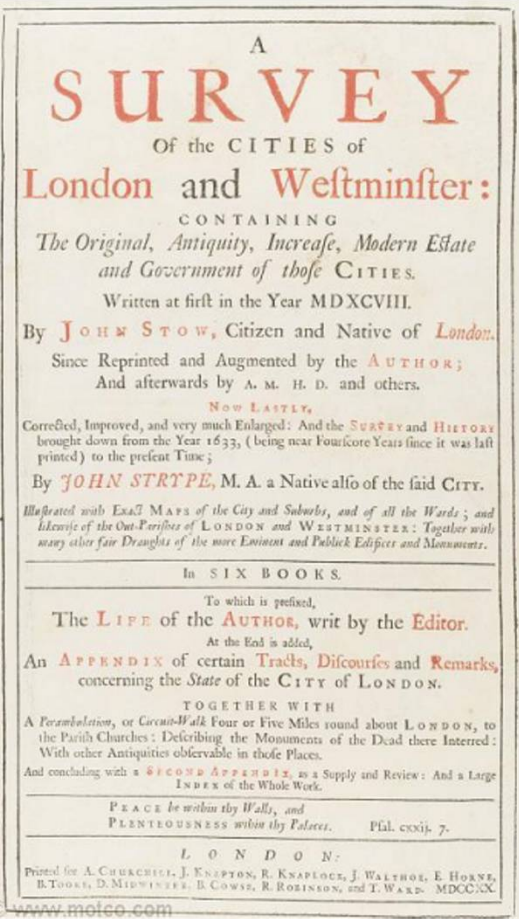


<https://www.dhi.ac.uk/strype/images/figures/810045-001.jpg>

John Stow's Elizabethan classic, *A Survey of London*, was first published in **1598**, with a second edition following in 1603. Stow (c. 1525–1605) was a chronicler and antiquary who transcribed manuscripts and inscriptions relating to English history, literature and archaeology, but his Survey is perhaps his most famous work, with its evocative 'perambulation' of the streets of the Tudor capital, which forms the main framework of the book. **In 1908, C.L. Kingsford produced a scholarly edition of the 1603 text**, which still remains authoritative, although Stow the scholar and antiquary has continued to be investigated by historians since that time.



次頁から、John Stowの Elizabethan classic, *A Survey of London*, was first published in **1598** を前提に進めた推論ですが、**1908**に改編されたもので、この推論を再考する必要がある。



## リーフデ号/サン・ブエナ・ヴェンツーラ号:どの様な船？

“日本初の西洋式帆船・リーフデ号”@伊東市役所ロビーは、Golden Hindを模した。

- **Golden Hind** at Deptford 1581 (in dry-dock) 1577~1580

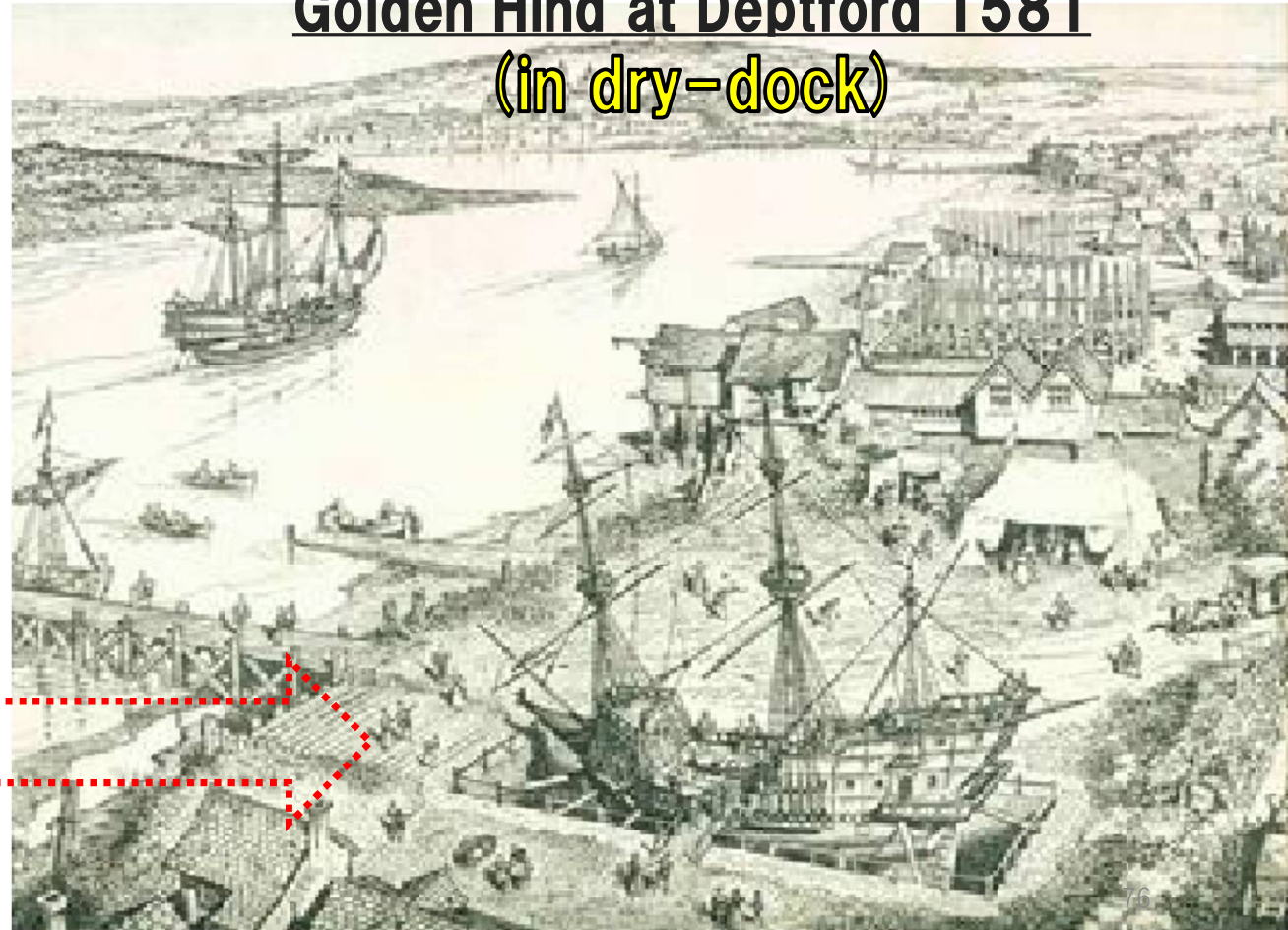
岡村宗一氏

- **Mary Rose**(1545年):「16世紀の帆船」  
杉浦昭典・神戸商船大学名誉教授

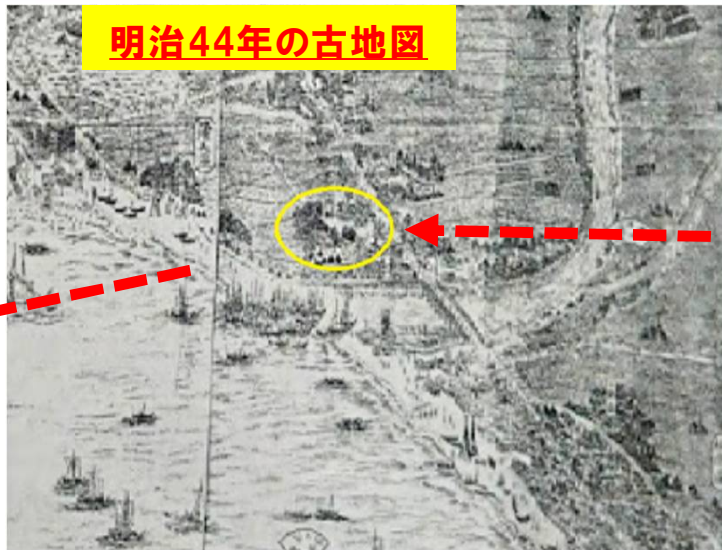
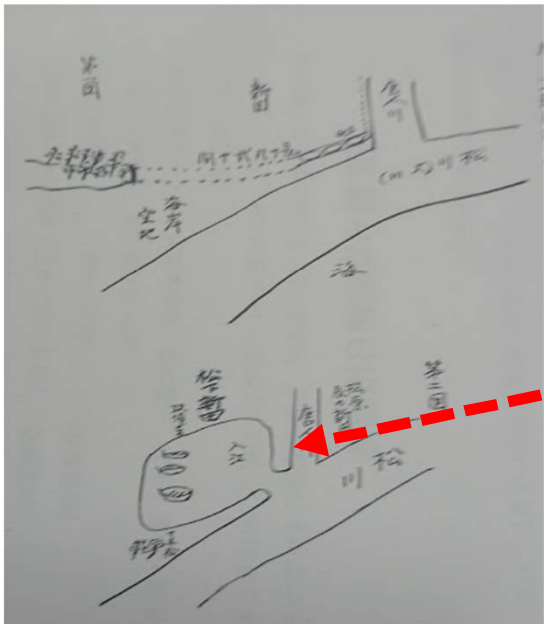
- **リーフデ号**  
ハウステンボスの復元“De Liefde”を建造した  
造船所“Verolme in Heusden”に資料打診  
(オランダの友人が情報を待つ)

「**ゴールデンハインド**」;  
1577~1580年周航を記念して、  
堤防で公開されました。  
特にそのために作られたドライは、  
海事博物館としての場所であり、  
ほぼ100年間の英国国民の誇り。  
船は破損し、一部で解体されました。

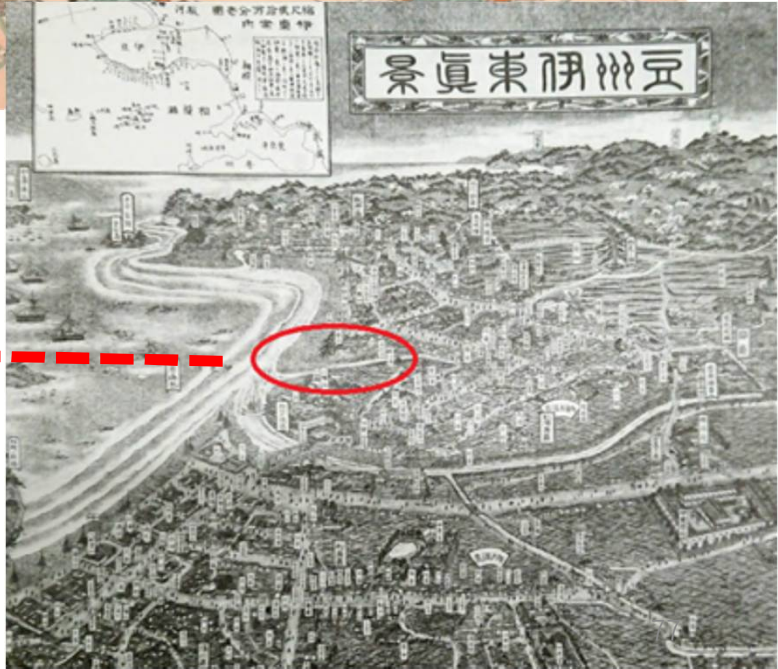
### Golden Hind at Deptford 1581 (in dry-dock)



# 「Limehouseの造船所(潟)」と「松川・唐人川の潟」の地形の酷似！



明治44年の古地図



そこで、“原点“  
「なぜ、ウィリアム・アダムス（按針）が伊東の地を選んだのか？」の  
疑問に戻ってみよう！

### 【従来の説】

家康の命により日本初の西洋式帆船(ガレオン船)建造にあたり、  
伊東・松川河口を選んだのは、

- ① 海（穏やかな海象・気象）
- ② 砂浜(松川河口)三角州…(**砂ドック説**)
- ③ 堰する唐人川…(**唐人川説**)
- ④ 木材・天城山系(矢筈山、遠笠山、伊雄山)の杉、檜、樺、榎
- ⑤ 腕の良い船大工

<注>

our countryと書く場合、送信者と受  
国を指すと理解すべく、イギリス人宛  
状ですので、イギリス方式と考えるの  
然。

もしも、オランダ方式であれば、in Ho  
と書くと思われます。即ちリーフデ号  
ンダ乗組員の手助けはあったもの  
リス・ライムハウス方式であろうと結

しかし、これらの条件を満たすのは、伊東だけか？ → 否！

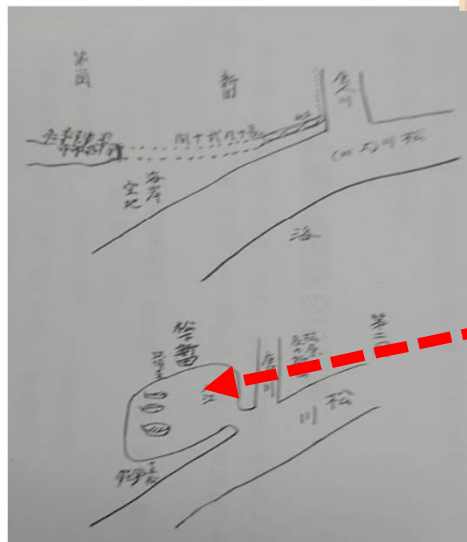
アダムスが決心した要因は他にもあるのでは？

☆ Adamsの造船の拠り所；Limehouseでの12年間の船大工修行  
未知のイギリス人に宛てた長い手紙Adams' letter No.2 (dated Oct.23,1611)；  
“The ship was built exactly the way they were already built in our country (England)”

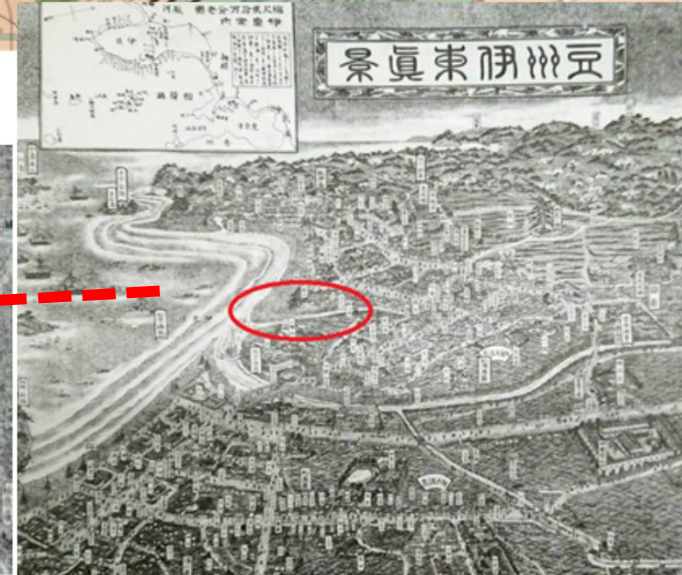
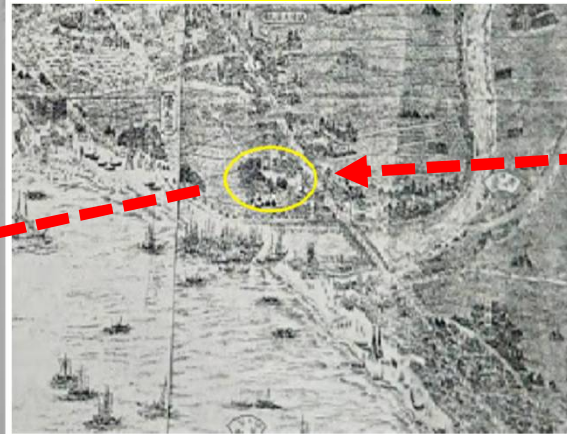
按針の建造の拠り所はライムハウスでの船大工・経験以外になし！

**「Limehouseの造船所(潟)」と「松川・唐人川の潟」の地形の酷似！**

アダムスの第2の手紙(バンタンにいた未知の友人宛、Oct.23,1611 付け)記述：  
“The ship was built exactly the way they were already built in our country (England), ...”



**明治44年の古地図**



そこで、  
按針が伊東での造船を決意した”もう一つの重要な理由“！？  
造船の重要な要素は、船体そのもの同様に護岸技術とロープワーク・鍛冶が必須！

→ 豊富な石材と石工による「港湾・岸壁造りの実績」

アダムス(按針)は、  
当時 家康の天下普請の為の巨石積み出し石造り岸壁  
(川奈、宇佐美辺りの“海中へ石にてつき出た島”(\*))を  
見て、

「此处なら、大工修行で学んだテムズ川での  
ドック(River Dock)方式で船が造れる!」

… と決意したと推測する。

(\*)三浦浄心『慶長見聞集』の表記  
→ この時代背景と関係資料情報は後述

**岸壁、ロープヤードと鍛冶（錨等）を追求！**



そこで、  
ウィリアム・アダムス（按針）が伊東・松川河口での造船を決意した  
”もう一つの重要な理由“！

→ **豊富な石材と石工による「港湾・岸壁造りの実績」**

アダムス(按針)は、  
当時 家康の天下普請の為の巨石積み出し石造り岸壁  
(川奈、宇佐美辺りの**“海中へ石にてつき出た島”**(\*))を見て、

**「此处なら、大工修行で学んだテムズ川での  
ドック(River Dock)方式で船が造れる!」**

… と決意したと推測する。

(\*)三浦浄心『慶長見聞集』の表記

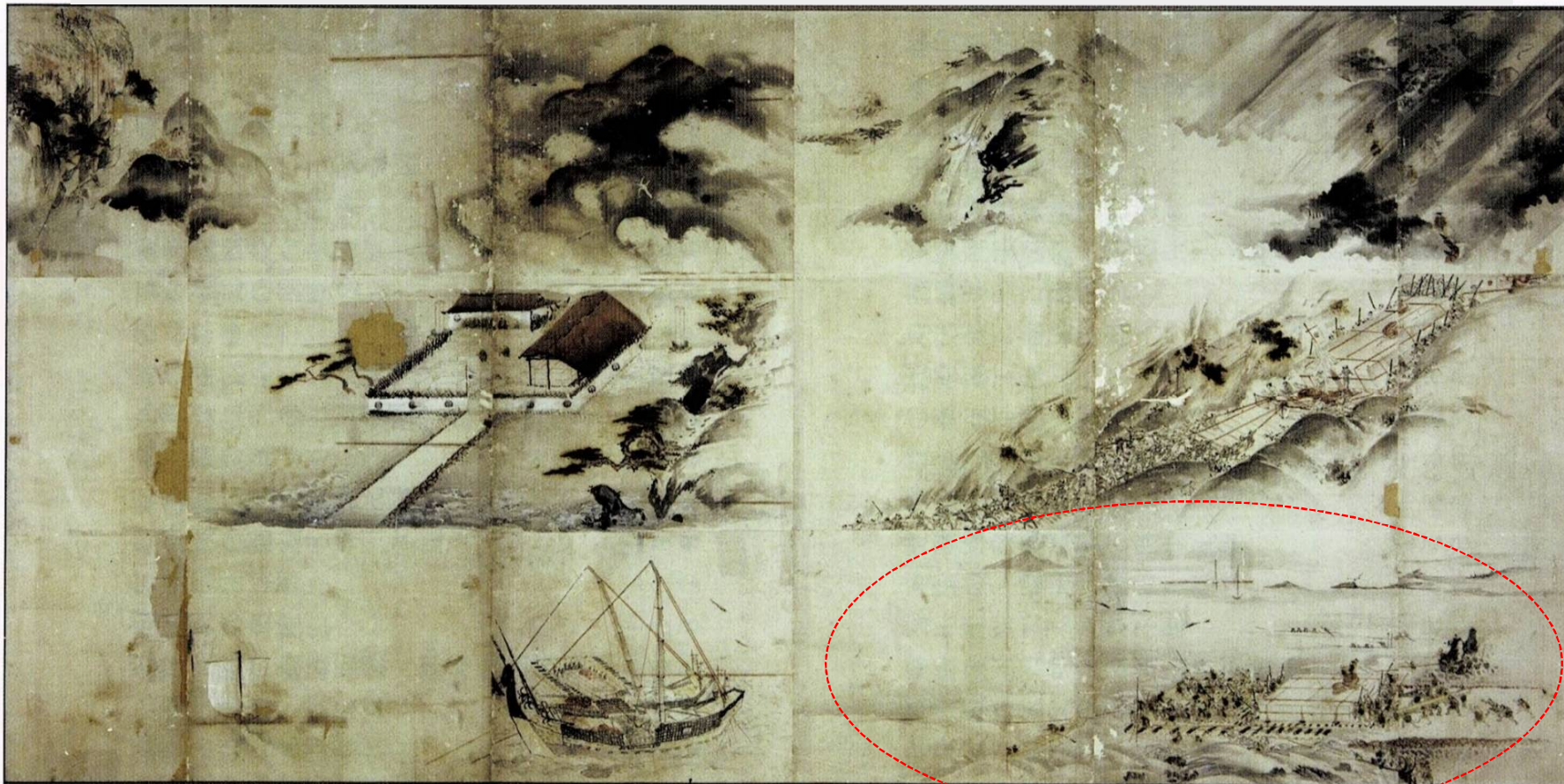
→ この時代背景と関係資料情報は後述

関係資料： 鈴木茂氏の著作「江戸城石材 提供地について」と『大川考(上下)』

この著作に紹介された箱根町指定文化財  
「紙本着色石曳図屏風」

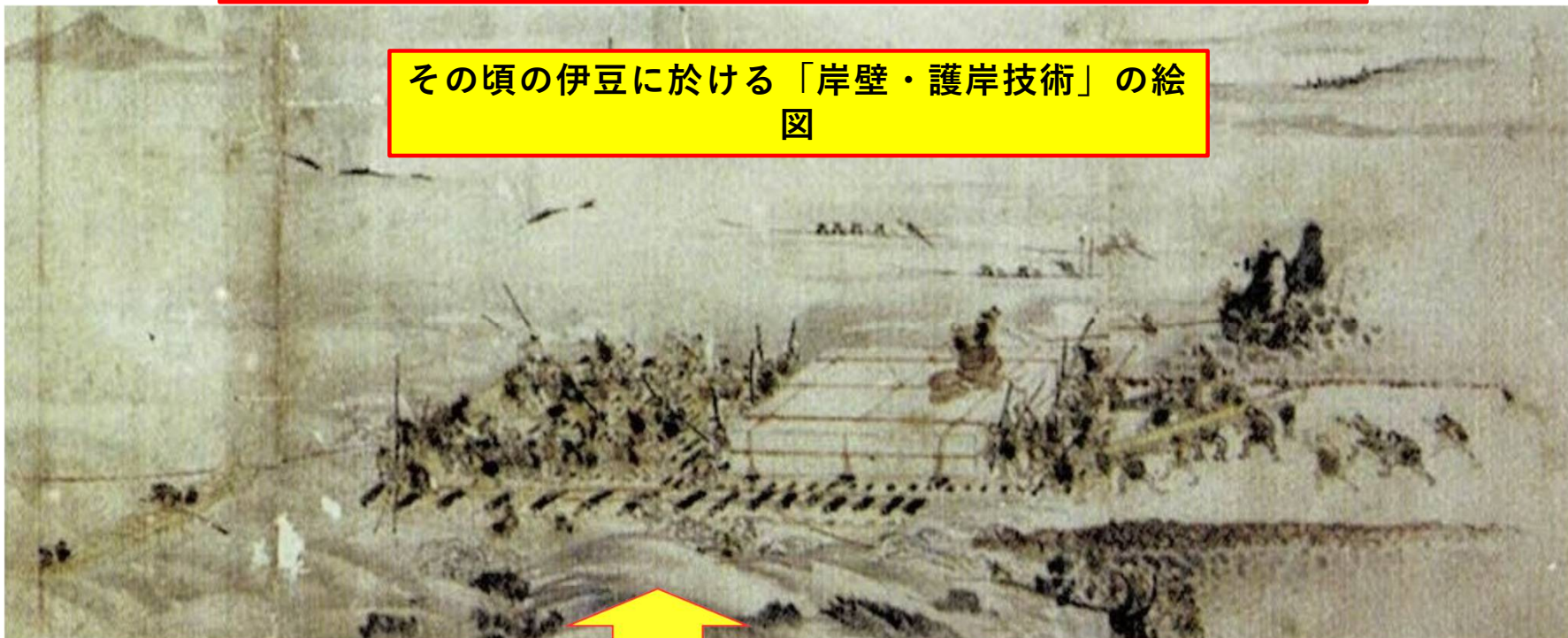
小田原藩大久保家が幕府へ献上する石材の切り出しから運搬までの図。  
紙面を3段に、右上から左下へと石切場の探索から運搬までの9つの場面を描写が、多くのヒントを与えている；

石井石材・提供



それでは、伊東でのドック建造は可能であったか？

その頃の伊豆に於ける「岸壁・護岸技術」の絵  
図



石曳図屏風：

修羅で巨石を、“石の島”（将に岸壁）に運んでいる。

太田茂氏「江戸城石材 提供地について」より、三浦浄心『慶長見聞集』の記述を引用；

「先年江戸城御城石垣をつかせらるるによって伊豆の国にて大石を大船に積むを見しに、

**海中へ“石にて島”をつき出し、**水底深き岸に船を付け、

陸と船との間に柱を打渡し、船を動かさず平地の如く道作り、石をば台にのせ、船の中にまき車を仕付け綱を引き、陸にては手こ棒を持って石をおしやり、船にのする。船中にまき車の工(たくみ)奇特なり。」

按針は、相模湾・伊東近辺の岸壁構造を見て決心したか！（推測）

## 鈴木茂氏の唐人川説での報告（石垣ではなく、多くの材木を発掘）から もう一つの可能性しがらみ(柵)

YouTube動画「徳川家康の江戸建設 (堂々日本史) 江戸建設」から引用；

→ <https://www.youtube.com/watch?v=nsShJqw75dk&t=69s>

江戸湾の埋め立ては、家康の江戸入府(1590年)直後から江戸城の築城工事に伴う堀の掘削土で埋め立てで始まった。

この時に埋め立てられたのが今の丸の内、八重洲地域だ。

1603年から江戸城北部の台地を切り崩して、日比谷入り江の南部一帯が埋め立てられた。

今の日本橋、京橋、新橋、築地地区だ。

多くの生活ごみが排出されるようになったが、1655年に江戸市中でのごみ処理例が出され、全て墨田区左岸河口の永代島に集めるようになり、その後の江戸湾の大々的な埋め立ては、その永代島に集められたごみが使われるようになった。この埋め立て工法が、「しがらみ(柵)」だ。



**按針の家康への進言「河野邊城」は、“安倍川の水深の変化(小川が”滝”に豹変)“の為、按針の西洋式帆船(キール構造・深喫水)の航行不能から、断念せざるを得なかった！**



**「サンペナベンツォーラ」、  
横付け出来ず！  
船の喫水>安倍川水深**



## 按針の現代への影響；

- 按針サミット4市の観光事業
- 米国「将軍」リメイク→ゲーム「按針」・RPGアクション
- 現代海運・船員への影響
- 東京湾水先区水先人会の「ANJIN」
- 東京海洋大学の歴史と按針の関わり

# 教科書での取り上げ方 山川出版社「もう一度読む 山川・日本史」

William Adams(三浦按針)の記述が多くあるが、若い人の認知度の低い。

“鎖国”への考え方も、最近は見直し・評価が変わってきた。

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>●1= 原始・古代</p> <p>第1章 日本の創りはじめ</p> <p>1 文化の伝来 23</p> <p>2 農耕社会の誕生 24</p> <p>第2章 大和王権の成立</p> <p>1 古墳の出現 24</p> <p>2 古墳文化の発展 24</p> <p>3 大正と皇統 24</p> <p>第3章 古代国家の形成</p> <p>1 倭国の成立 24</p> <p>2 大和の形成 24</p> <p>3 律令国家 24</p> <p>4 飛鳥・白鳳文化 24</p> <p>5 平城京の政治 24</p> <p>6 天平文化 24</p> <p>第4章 律令国家の衰微</p> <p>1 平安遷都 24</p> <p>2 仏教・貴族文化 24</p> <p>3 貴族政治の展開 24</p> <p>4 院政政治 24</p> <p>5 院政文化 24</p> <p>6 院政と武士団 24</p> <p>●2= 中世</p> <p>第5章 武家社会の形成</p> <p>1 院政と平氏政権 24</p> <p>2 幕府の誕生 24</p> <p>3 武士団の発展 24</p> <p>4 足利時代の幕府 24</p> <p>5 徳川文化 24</p> <p>第6章 武家社会の転換</p> <p>1 徳川幕府 24</p> <p>2 徳川幕府の成立 24</p> <p>3 幕府体制の発展 24</p> <p>4 幕末文化 24</p> | <p>第7章 下野上と戦国大名</p> <p>1 下野上の社会 24</p> <p>2 戦国文化 24</p> <p>3 戦国大名 24</p> <p>●3= 近世</p> <p>第8章 幕藩体制の確立</p> <p>1 徳川幕府の成立 24</p> <p>2 幕藩体制 24</p> <p>3 幕藩文化 24</p> <p>4 江戸幕府の成立 24</p> <p>5 「土農工商」 24</p> <p>6 鎖国への道 24</p> <p>第9章 幕政の安定と町人の活動</p> <p>1 文治政治 24</p> <p>2 産業の発展 24</p> <p>3 町人の経済活動 24</p> <p>4 文楽文化 24</p> <p>第10章 幕藩体制の動揺</p> <p>1 幕政の改革 24</p> <p>2 幕政の改革 24</p> <p>3 幕政の改革 24</p> <p>4 天保の改革 24</p> <p>5 文政文化 24</p> <p>6 幕末の学問 24</p> <p>●4= 近代・現代</p> <p>第11章 近代国家の成立</p> <p>1 幕末から 24</p> <p>2 幕末から明治へ 24</p> <p>3 明治維新 24</p> <p>4 藩閥を打ち倒して 24</p> <p>5 幕府崩壊 24</p> <p>6 文明開化 24</p> <p>7 土農工商の崩壊 24</p> <p>8 自由民権運動 24</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 6 鎖国への道

### 家康の平和外交

家康の外交方針は秀吉とは異なる和平主義であった。1600(慶長5)年、オランダ船リーフデ号が豊後に漂着すると、家康はオランダ人ヤン・ヨーステン、イギリス人ウィリアム・アダムズ(三浦按針)を江戸にまねいて外交・貿易の顧問とした。その後、オランダ人・イギリス人たちに平戸商館の開設と自由な貿易をゆるされたが、ポルトガル人やスペイン人が南蛮人とよばれたのにたいし、かれらは紅毛人とよばれた。

一方、スペインに対しても貿易の振興をはかり、スペイン領のメキシコ(ノビスパン)に京都の商人田中勝介を派遣して通商をもとめた。ついで仙台藩主伊達政宗は、家臣の支倉常長をスペインに派遣し、メキシ



▶朱印船渡航地と日本町

# ゲーム「仁王」、ご存知ですか？

## 金髪碧眼の侍「ウィリアム」(按針)を主人公とする アクションRPGです。



### ●株式会社コーエーテクモゲームス『仁王』ゼネラルプロデューサー/シブサワ・コウ氏の言葉

日本だけでなく、世界中の方に遊んでいただける日本の歴史を舞台にしたゲームを創りたい。そう考えた際に思い浮かんだのが、金髪碧眼の西洋人が日本刀を手に戦国時代で闘う姿でした。そこに、三浦按針という名を徳川家康から与えられた英国人ウィリアム・アダムスをモチーフに、『仁王』のシナリオを組み立てていったのです。

恐らく実際の按針は、『仁王』の「ウィリアム」のように武器を持って日本で闘うことはなかったでしょう。ただ、“もしこうだったら”という想像は、歴史を楽しむ上で欠かせない要素です。お陰様で『仁王』は、全世界で200万本以上販売するヒット作となりました。今も世界中で、「ウィリアム＝按針」の名前が広がっています。これを機に、この日本で数奇な運命をたどった三浦按針の史実に興味を持つ方が増えれば幸いです。





## 洋船建造術はなぜ継承されなかったのか？



ガレオン船(竜骨・肋骨構造)



ジャンク(平底・隔壁構造)

### <定説>

- 徳川幕府の切支丹禁教令や鎖国政策のため、海外との交流が国禁として途絶え、大海・渡航可能な洋船建造の必要性がなかった
- 大船建造禁止令により、航洋可能な大型船の建造が禁止された。

### <暗黙の主張>

幕府が鎖国政策・大船禁止政策さえとらなければ、日本はすでに江戸時代に洋式船を建造していた。(出来ていた。)

## この定説・主張に加えて



日本近海の特殊性・内陸需要地への輸送に適した和船が発達。

江戸時代の初期は100石-500石の船が多かったが、後期になると1400石-1800石と大きくなる。ちなみに千石船とは全長:29m、幅7.5m、積載量150トン、帆の面積18x20m、乗組員15人であった。航海は、江戸初期で大坂→江戸間32日、平均4往復/年であったが、江戸後期には大阪→江戸間が12日、平均8往復/年と倍増した。次なる海外雄飛と近代船建造の夜明けは、明治の世まで据え置かれることになった。



和船(平底・棚板構造)

## 商船大・海洋大で遠洋航海実習(日本丸、海王丸)

若き学生時代の最後に、帆船の遠洋航海・・・社会に羽ばたくための多くの能力を身に付けます。



### ●「Sea-man Ship」の醸成:

\*One for all, All for one

\*One hand for oneself and one for the ship.

\*チャレンジ精神

\*スマートで目先が利いて几帳面、負けじ魂、  
これぞ船乗り!

# 按針の業績・影響は、 現在の海洋大学越中島キャンパスに繋がる

## ● 家康の幕府水軍(安宅船団)強化の目論見！

アダムスのアルマダ海戦での経験と知識を以って、按針を向井忠勝の水軍指南役とする。

“按針vs向井家(忠勝将監)”の“江戸と横須賀での屋敷配置”の組み合わせ(ペアリング)

按針屋敷(町) ⇨ 向井将監(上下屋敷)

⇨ 幕府水軍 ⇨ 安宅船船倉 ⇨ 靈巖島

⇨ 11代・向井将監に継承？

⇨ 大久保利通 ⇨ 海軍訓練所

⇨ 大久保利通 ⇨ 岩崎弥太郎

⇨ 三菱商船学校(成妙丸/明治丸)

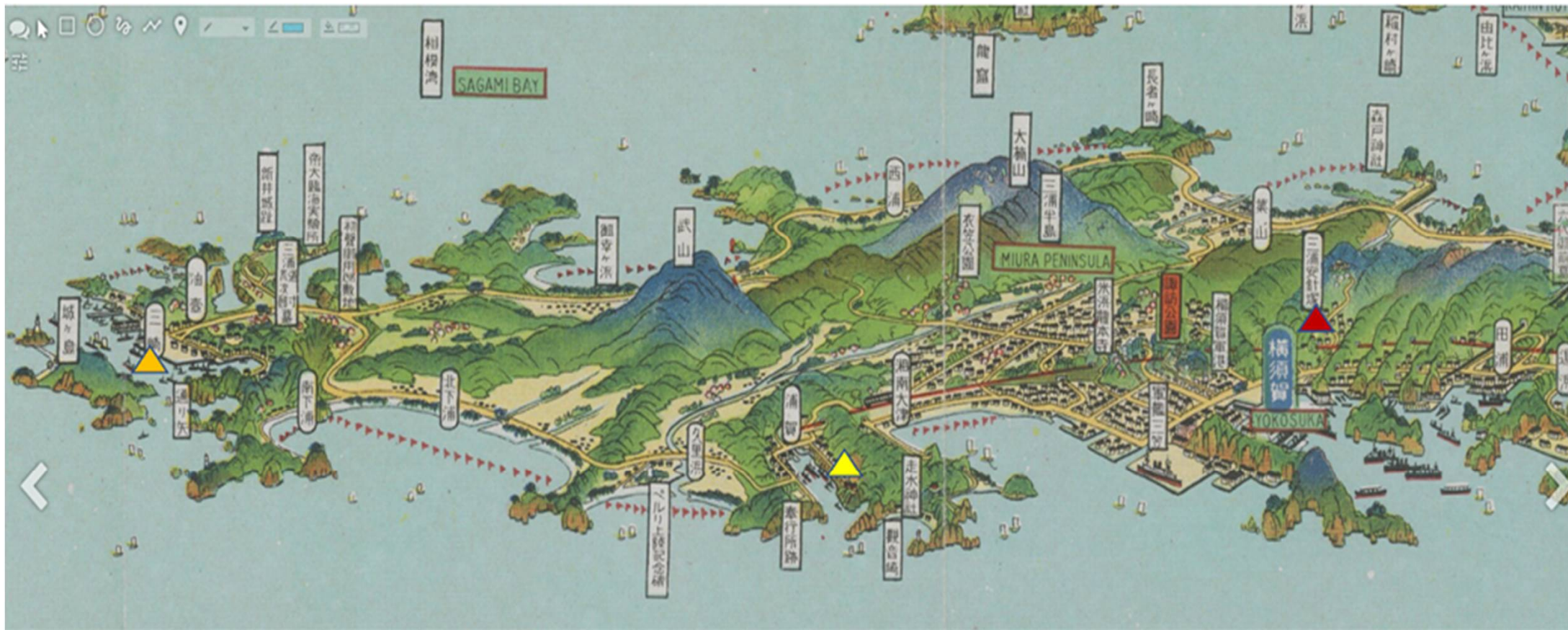
⇨ 商船大 ⇨ 東京海洋大学



按針逸見邸(鹿島神社) 1時間50分  
按針浦賀邸(東林寺) 3時間30分  
忠勝三崎邸(三崎城跡) 4時間  
＜三浦トライアングル！＞

# <三浦トライアングル！>

- 按針逸見邸(鹿島神社) 1時間50分
- 按針浦賀邸(東林寺) 3時間30分
- 忠勝三崎邸(三崎城跡) 4時間



▲ 忠勝三崎邸

▲ 按針浦賀邸

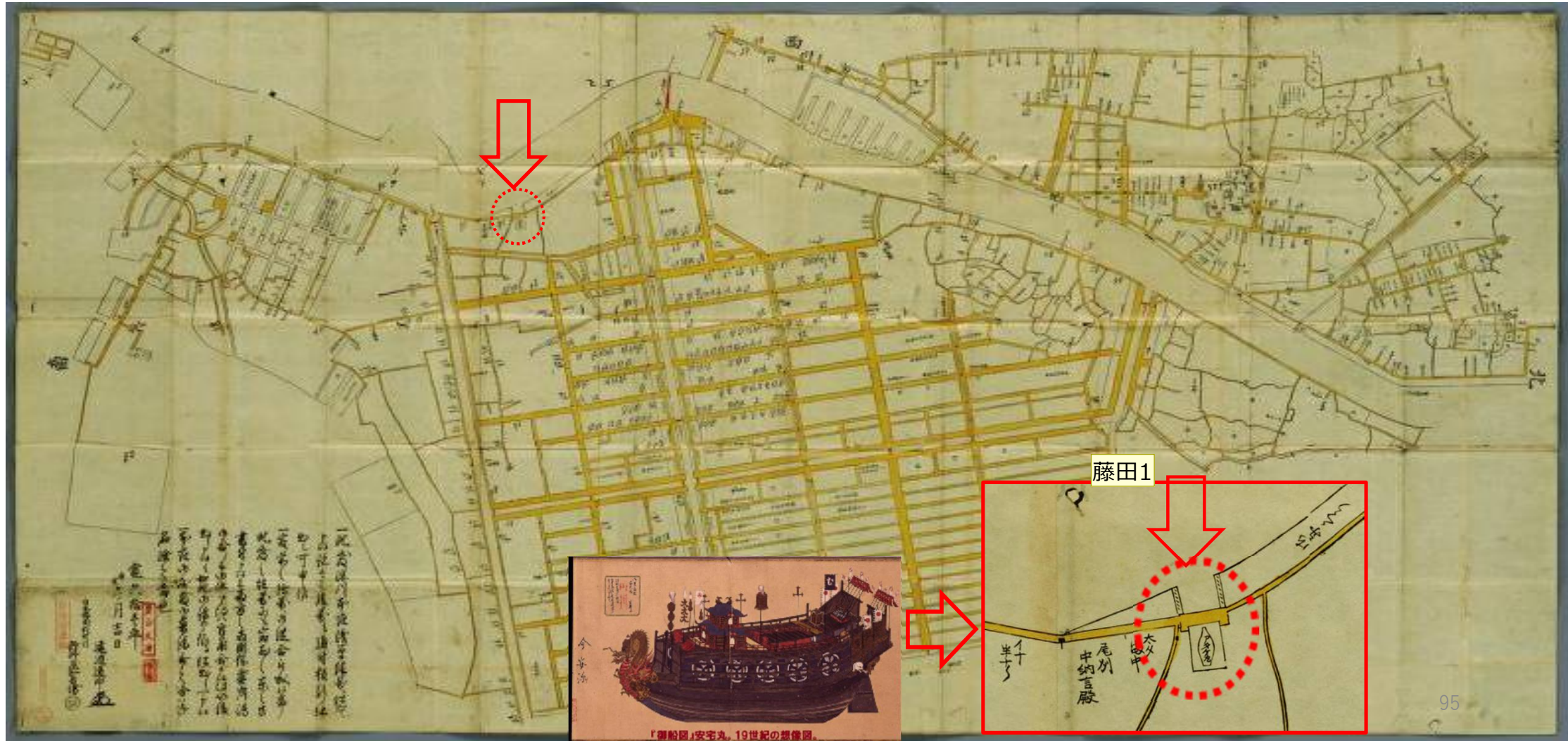
▲ 按針逸見邸



**武州豊島郡江戸庄図 (1632)**  
**按針屋敷~忠勝屋敷ルート**

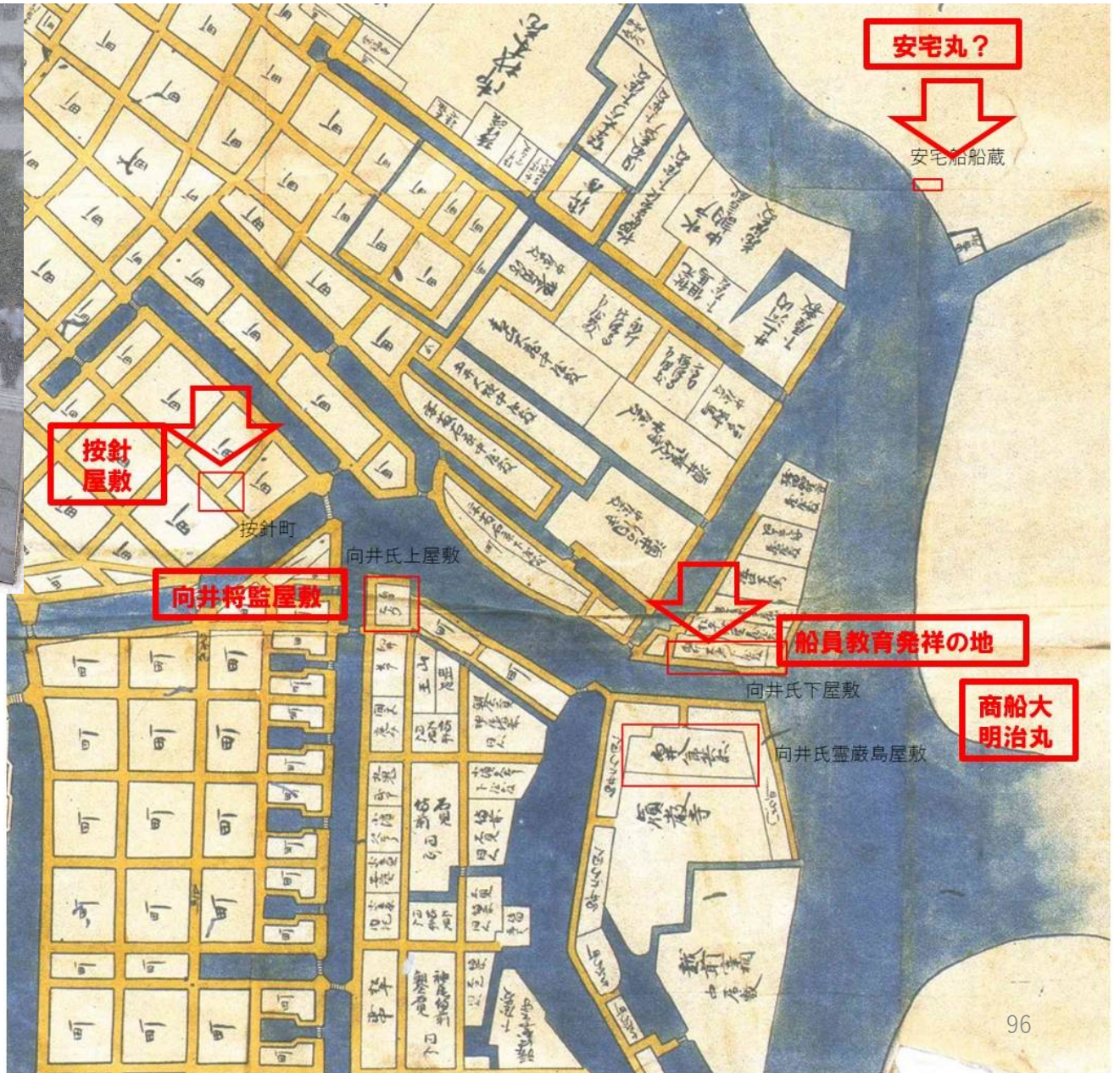
**安宅丸に按針の影響が残っていないか？ → 幕府水軍のドックらしき史料(小川雄氏提供)**  
**1670年代「新板江戸外図」- 深川、本庄、浅草**

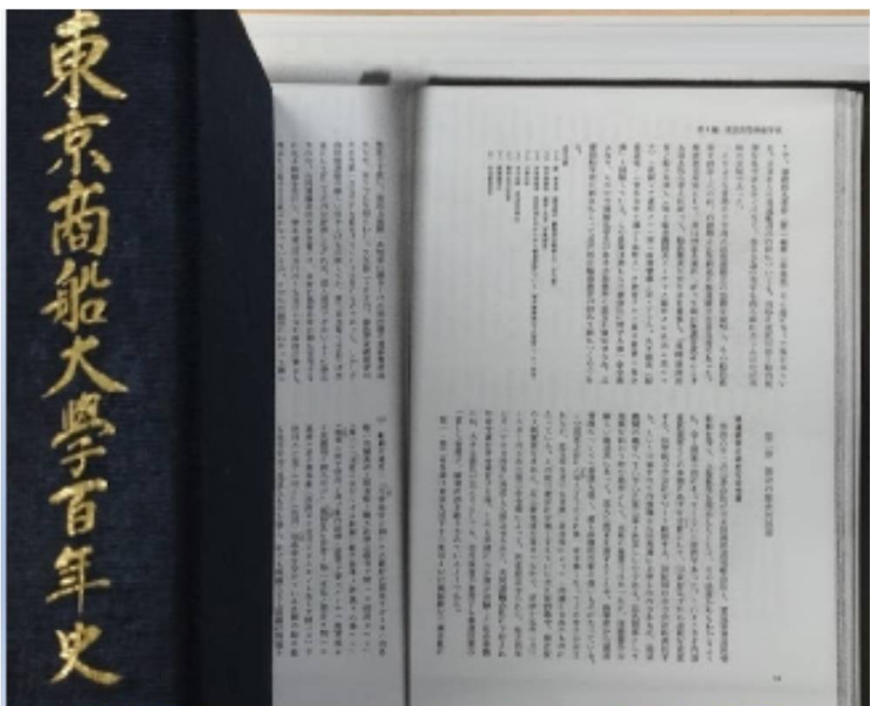
深川の“船蔵”部分に安宅丸(「アタケ丸」)を収容する隅田川の掘込み(安宅丸の前方に隔壁らしきもの → 水門式ドック？)



藤田1 藤田 浩一,







私学開業願

一、学校位置

墨陀河口繫留帆船<sup>(船)</sup>成妙丸船上

但し本校事務扱所ハ京橋区銀町式丁目拾七番地

ニ設置ス

一、校名

三菱商船学校

一、教員

英国人ヂ・イ・オー・ラムセー

海軍大尉大坪正慎

开拓使士族山田毅

静岡県士族宍戸鑑

一、学科

航海<sup>運用</sup>機械<sup>時</sup>学専門

一、教則及ヒ校則授業間等ハ都テ別冊校則内則中ニ詳カナリ

右者駅通局之御諭達ニ因リ明治九年一月ヨリ開設仕居候処今般御同局ヨリ御達之趣モ有之候ニ付改而開業之儀奉願上候也

日本橋区南茅場町拾六番地

郵便汽船三菱会社長

岩崎弥太郎

明治十二年五月廿九日

東京府知事 楠本正隆 殿

# アダムス・三浦按針を通して 海事思想の普及活動

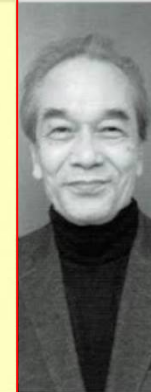


## 海国日本に海事博物館 (特設「按針」コーナー)

### 提案・講演

### 海運立国懇話会

### @海運ビル



海運振興連盟・海洋立国懇話会 共同開催  
第178回 [年齢制限のない若手勉強会]

### 国立海事博物館構想: 三浦按針の事績に関連して

日時 — 2021.11.30 17:30-19:00

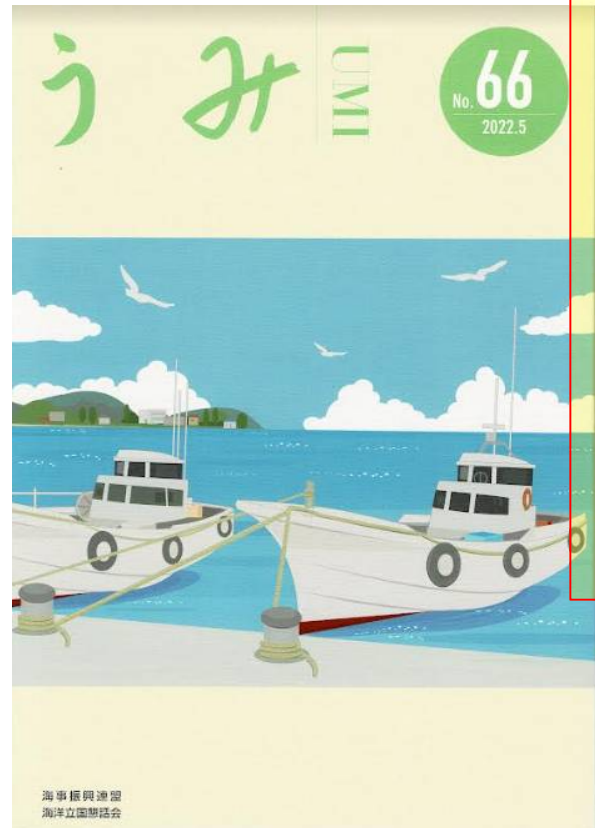
方式 — 海運ビル5F会議室

物流コンサルタント

藤田 浩一 氏

「三浦按針」との出会い  
航海士、ポートキャプテン、物流コンサルタントとして仕事をしてきた私は、退職後、経験を何らかの形で海運界に還元してできないかと考えていました。そんな時に「三浦按針」に出会いました。激動の大航海時代は父島・臼杵市の黒島に到着したオランダ船の英国人船長がウイリアム・アダムス・三浦按針です。静岡伊東市で日本初の洋式帆船を建造しました。伊東市では、毎年伊東伊豆半島航海祭が開催されます。建造については不明な点もあり、その追ううちに按針が優秀な航海士であるだけでなく、冒険心に富み、魅力のある人である事を知りました。現在の海運界は、自律運航船が取って代わろうとする、かつてない大航海の時代を迎えようとしています。この大船に反対する若者たちに、按針の生涯を伝え、学んでもらうきっかけとなるよう広報の方法を模索し始めました。

「三浦按針」パネル展・講演会  
2018年の按針祭に向けて、「三浦按針」パネル展・講演会への企画を、伊東市観光課に提案しました。市役所からの回答は、按針祭で手一杯、お金も人も出せないが、独自でやるのは構わないというものでした。提案を受け入れてもらったのは、企画書作成の船長協会、懇話会、懇話会会長、水先人協会、海運会など海運界の様々な団体からご賛同をいただき、準備には多くの海運関係者の方々にご協力を頂きました。9月の講演会では、謝礼など一切ないゼランディアという条件にもかかわらず引き受けてくださった講師の方々には感謝しありません。多くのご支援のお蔭で、素人のイベントでも成功することができました。



## 【今回のイベントの目的と期待】

### 東京海洋大学の後輩に向けて

アダムス・按針の**チャレンジ精神**に富んだ生き方を学び、  
激動の**海運・物流・経済界**に挑んで  
**日本を活性化**の原動力になって欲しい！

**最後に**

**今回イベントの共同主催者・澤間氏  
旧東京商船大学の先生・先輩・後輩  
明治丸ミュージアムのスタッフ**

**そして、**

**パネル作り・会場設営に協力してくれた海事普及会学生**

**皆々様に、深く感謝致します。**